



Synology NAS ユーザーガイド

DSM 6.2 基準

目次

第 1 章: はじめに

第 2 章: Synology DiskStation Manager を始める前に

Synology NAS と DSM のインストール	8
DSM へのサインイン	8
DiskStation Manager のデスクトップ	9
メイン メニューでアプリケーションとパッケージを開く	11
シャットダウン、再起動、ログアウト、個人設定	12

第 3 章: システム設定の変更

コントロール パネルを使う	15
ネットワーク設定の変更	16
ワイヤレス ネットワークに接続	17
地域のオプション変更	17
省エネ機能を使う	18

第 4 章: 高度な管理タスクの実施

システム情報のチェック	20
システムログを見る	21
システムリソースの監視	22
システム使用累計の分析	23
システム設定をスキャンする	24
High-Availability ソリューションを導入する	25
自動タスク	25
DSM の更新またはデフォルトに戻す	25
イベント通知の受信	26
独立したログインでアプリケーションにアクセス	26
アプリケーション用にマルチメディア ファイルにインデックスを付ける	26
admin パスワードをリセットする	26
Synology NAS の再インストール	27
SNMP サービスを有効にする	27
ターミナルサービスを有効にする	27

第 5 章: ストレージスペースの管理

ストレージ プールとボリューム	28
ストレージプールの修復	30
RAID タイプの変更	30
ボリュームとストレージ プールの拡張	31
RAID/ファイル システム スクラブ	32
SSD TRIM	33
ハード ドライブの管理	33

SSD キャッシュ	33
Hot Spare	34
外部ドライブの管理	34

第 6 章: iSCSI サービスの管理

iSCSI Target の管理	35
iSCSI LUN の管理	36
iSCSI LUN のスナップショットの作成	36
iSNS サーバーで iSCSI Target を登録する	36
I/O キューの深さの設定	36

第 7 章: インターネットから Synology NAS へのアクセス

EZ-Internet ウィザードを使う	37
ルーターのポート転送規則の設定	38
Synology NAS の DDNS を登録する	38
QuickConnect で DSM サービスにアクセスする	39
VPN 接続の設定	40

第 8 章: インターネットセキュリティの強化

ファイアウォールで不正アクセスを阻止	41
インターネット攻撃を阻止する	41
疑いのある不正ログインを自動ブロック	42

第 9 章: ファイル共有の設定

すべてのプラットフォームのファイル共有プロトコルを有効にする	43
Synology NAS をドメイン/LDAP に接続する	44
Directory Server によるホスト LDAP サービス	45
ユーザーとグループの管理	46
共有フォルダの設定	48
共有フォルダに対する Windows ACL 権限の定義	51
共有フォルダコンテンツのインデックス付け	51

第 10 章: 場所を選ばずファイルにアクセス

ローカル ネットワーク内からファイル アクセス	52
FTP 経由でファイルにアクセス	54
WebDAV 経由でファイルにアクセス	55
Synology Drive 経由でファイルにアクセスして同期	56
File Station 経由のファイルアクセス	57

第 11 章: データのバックアップ

コンピュータデータのバックアップ	60
Synology NAS にデータまたは iSCSI LUN をバックアップする	61
システム設定のバックアップと復元	61
Synology NAS 間の共有フォルダコンテンツを同期する	61
USB デバイスまたは SD カードへのデータのバックアップ	61

第 12 章: ウェブサイトとプリント サーバーのホスト

ホストウェブサイト に Web Station を使う	62
Synology NAS をプリントサーバーとして設定	63

第 13 章: パッケージ センターでさまざまなアプリケーションを検索

パッケージ センターが提供するもの	64
パッケージのインストールまたは購入	66

第 14 章: モバイルデバイスで通信

DSM mobile で DSM 設定を管理する	67
iOS、Android、および Windows Phone アプリの使用	67
他のモバイル デバイスを使う	69

はじめに

Synology NAS をご購入いただきありがとうございます。Synology NAS はインターネット上のファイル共有センターとして機能する、多機能のネットワーク型ストレージサーバーです。さまざまな用途にご利用いただけるようにデザインされており、ウェブを使った Synology DiskStation Manager (DSM) で以下の機能を実行できるようになっています。

インターネット上での保存・共有

Windows、Mac、Linux ユーザーはイントラネット内で、またはインターネットを介してファイルを簡単に共有することができます。ユニコード言語をサポートすることにより、Synology NAS で簡単に異なる言語を使ってファイル共有が可能になりました。

セキュリティアドバイザーによる設定スキャン

セキュリティアドバイザーは、DSM 設定や Synology NAS をスキャンするセキュリティアプリケーションです。設定をチェックして、Synology NAS を安全に維持するための変更を推奨します。

ウェブを使って File Station でファイル管理

Synology DiskStation Manager に属する File Station を使うと、ウェブインタフェースから Synology NAS でファイルを管理できます。Synology NAS に保存されているファイルを携帯装置からアクセスすることもできます。

FTP 経由のファイル転送

Synology NAS は、帯域幅制限と匿名ログインがある FTP サービスを提供しています。データを安全に転送するため、FTP over SSL/TLS および迷惑 IP の自動ブロックを利用することができます。

Cloud Station でファイルを同期する

Cloud Station は、集中管理した Synology NAS と複数のクライアント コンピュータ、モバイル デバイス、Synology NAS デバイスの間でファイルを同期するためのファイル共有サービスです。

ストレージの容量を iSCSI LUN として共有する

Synology NAS のボリューム容量の一部を iSCSI LUN に指定して、iSCSI 開始プログラムがローカル ドライブ同様にアクセスするようにできます。

コンピュータやサーバーにファイルをバックアップ

Synology NAS は、コンピュータデータを Synology NAS に、Synology NAS データや iSCSI LUN を外部のハードディスク、その他の Synology NAS、または rsync と互換性を持つサーバー、または Amazon S3 サーバー、HiDrive backup サーバーなどにバックアップするソリューションを提供しています。

サーバー上のエンターテインメントコンテンツの活用

Download Station では、BT、FTP、HTTP、eMule および NZB を介してインターネットからファイルを Synology NAS にダウンロードすることができます。メディア サーバーと iTunes に対応していますので、LAN 内のコンピュータや DMA デバイスで SynologyNAS¹ 上のマルチメディア ファイルを再生することもできます。

USBCopy または SDCopy 機能で、Synology NAS の Copy ボタンを押すと、即座にファイルをカメラや SD カードから Synology NAS へコピーすることができます。²

Video Station でビデオを整理する

Video Station では、Synology NAS に USB DTV ドングルを接続して、ビデオ クリップやライブ ストリームを見たり、再生したり、デジタル TV 番組を録画したり、インターネットから自動的に情報を取得できるビデオ メタデータを見たり、編集したりすることができるメディア プラットフォームで、ムービー コレクション、TV 番組、home ビデオを整理することができます。ビデオを iPhone や iPad にストリームして再生することもできます。

Moments で個人用写真をスマートに管理

Synology Moments によりすべての写真とビデオを 1 つのプライベートな場所に収集できます。このパッケージは写真ストレージに新たな時代を開くもので、ランダムな写真を画像認識技術 (写真の中の人々、主題、および場所を特定できる技術) によって自動的に分類して保管できます。

Photo Station でプロフェッショナルな写真を整理

Photo Station により簡単にオンライン アルバムをフォルダに整理できます。高度な権限と共有の設定により、プロの写真家がクライアントのために簡単に写真を展示してフィードバックを得ることができます。

いつでも、どこでも音楽を楽しむ

Audio Station を使うと、Synology NAS に保存した音楽を iPod に接続して、またはインターネット ラジオのストリームとして聴くことができます。さらに、ウェブブラウザを使ってインターネット経由で Synology NAS から音楽をストリームできます。

ウェブサイトをホスト

仮想ホスト機能では、PHP および MySQL 対応の Web Station を使って最大 30 個のウェブサイトがホスト可能です。

IP カメラによるビデオの録画

Surveillance Station により、インターネット上の複数の IP カメラからのビデオの管理、視聴、および録画が可能です。Surveillance Station のウェブベースの管理インターフェースにアクセスすることにより、カメラが監視するリアルタイムの画像を表示し、継続的にビデオを録画し、動向探知モードまたはアラーム録画モードにすることも可能です。

複数の Synology NAS デバイスの管理

Synology CMS (中央管理システム) を活用すると、複数の Synology NAS サーバーをすばやく、便利に管理することができます。CMS がインストールされると、Synology NAS サーバーを CMS ホストとして機能させ、他のサーバーを管理されるサーバーにすることができます。CMS ホストでは、1 つのインターフェイスから管理されるサーバーを監視したり、維持したりできます。

¹ ハードドライブ、USB プリンター、DMA、UPS などの推奨される周辺機器モデルについては、www.synology.com を参照してください。

² USBCopy または SDCopy は、特定のモデルでしか使用できません。詳細情報は、www.synology.com を参照してください。

パッケージセンターでさまざまなアプリを検索

パッケージセンターは、さまざまなアプリケーション（パッケージにパックされています）を簡単にインストールしたり、更新したりするための直感的で便利なツールです。使用可能なアプリケーションを参照して、必要に合ったものを選択してください。ボタンを数回クリックするだけの簡単な操作です。

プリントサーバーの設定

Synology NAS に接続された USB またはネットワーク プリンタは、LAN を介してクライアントコンピュータで共有することができます。AirPrint 対応ですので iOS デバイスから印刷することが可能であり、また Google Cloud Print サポートにより Google 製品およびサービスを使用しながら印刷することも可能です。¹

オンライン リソース

ここに必要な情報が記載されていない場合は、**DSM ヘルプ**、または下の Synology オンライン リソースもご覧ください。

ナレッジ ベース: <https://www.synology.com/knowledgebase>

フォーラム: <https://forum.synology.com/>

ダウンロードセンター: <https://www.synology.com/support/download>

テクニカルサポート: https://account.synology.com/support/support_form.php

¹ ハードドライブ、USB プリンタ、DMA、UPS などの推奨される周辺機器モデルについては、www.synology.com を参照してください。

Synology DiskStation Manager を始める前に

この章では **Synology DiskStation Manager (DSM)** にサインインする方法や、デスクトップをカスタマイズしたり、タスクバーやウィジェットを使う方法、**メインメニュー** からアプリやパッケージを開く方法を説明します。

Synology NAS と DSM のインストール

Synology NAS のセットアップと DSM のインストールについては、Synology NAS モデルの **ハードウェアインストールガイド** を参照してください。このガイドは Synology の **ダウンロードセンター** からダウンロードできます。

DSM へのサインイン

Synology NAS に DSM を設定し、インストールした後は、コンピュータのブラウザを使って DSM にサインインできます。

Web Assistant でログインする方法:

- 1 コンピュータが Synology NAS と同じネットワークに接続されており、インターネットにアクセスできる状態であることを確認してください。
- 2 コンピュータでウェブブラウザを開き、find.synology.com にアクセスします。
- 3 Web Assistant がローカルネットワーク内にある Synology NAS を検出します。**[接続]** をクリックすると、ログイン画面が開きます。

サーバー名または IP アドレスでログインする:

- 1 コンピュータが Synology NAS と同じネットワークに接続されていることを確認します。
- 2 コンピュータでウェブブラウザを開き、アドレス欄に次のいずれかを入力して、キーボードで Enter キーを押します。

`http://Synology_Server_IP:5000`

`http://Synology_Server_Name:5000/` (または Mac では `http://Synology_Server_Name.local:5000/`)

`Synology_Server_Name` は、初期インストールの段階で Synology NAS に設定した名前に置き換わります。



- 3 ユーザー名とパスワードをセットアップして、**[サインイン]** をクリックします。

注: DSM への接続の実行を円滑に行うには、以下のブラウザを使用してください。

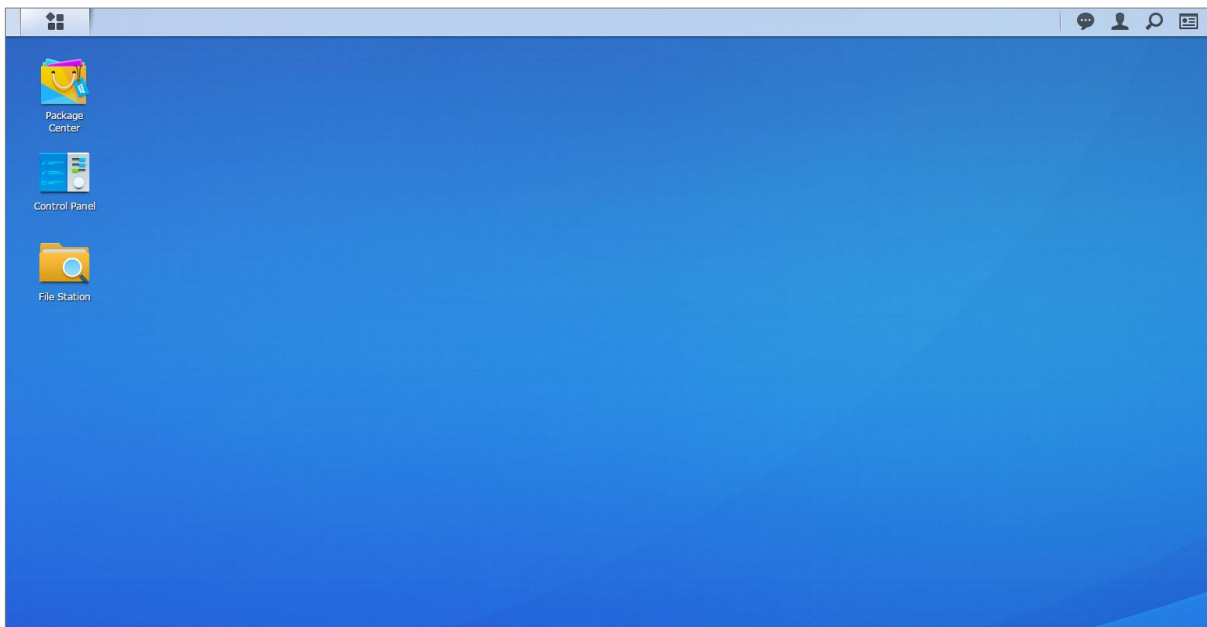
- Chrome
- Firefox
- Safari: 10 以降
- Internet Explorer: 10 以降
- Safari: iOS 10 以降
- Chrome: Android 6 以降

DiskStation Manager のデスクトップ

DSM にサインインすると、デスクトップが表示されます。ここから、設定管理、パッケージの使用、通知の表示などを始めることができます。

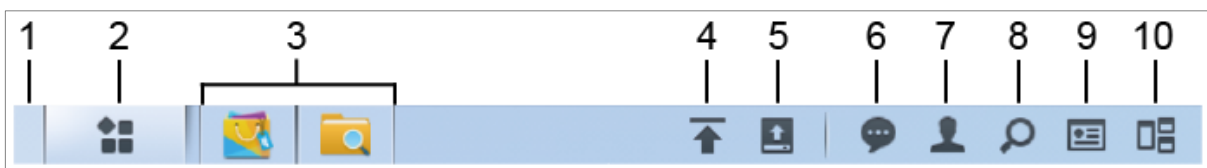
デスクトップ

デスクトップはアプリケーションやパッケージのウィンドウが表示される場所です。頻繁に使用するアプリケーションはデスクトップにショートカットを作成できます。



タスクバー

デスクトップ上部のタスクバーには以下のアイテムがあります:

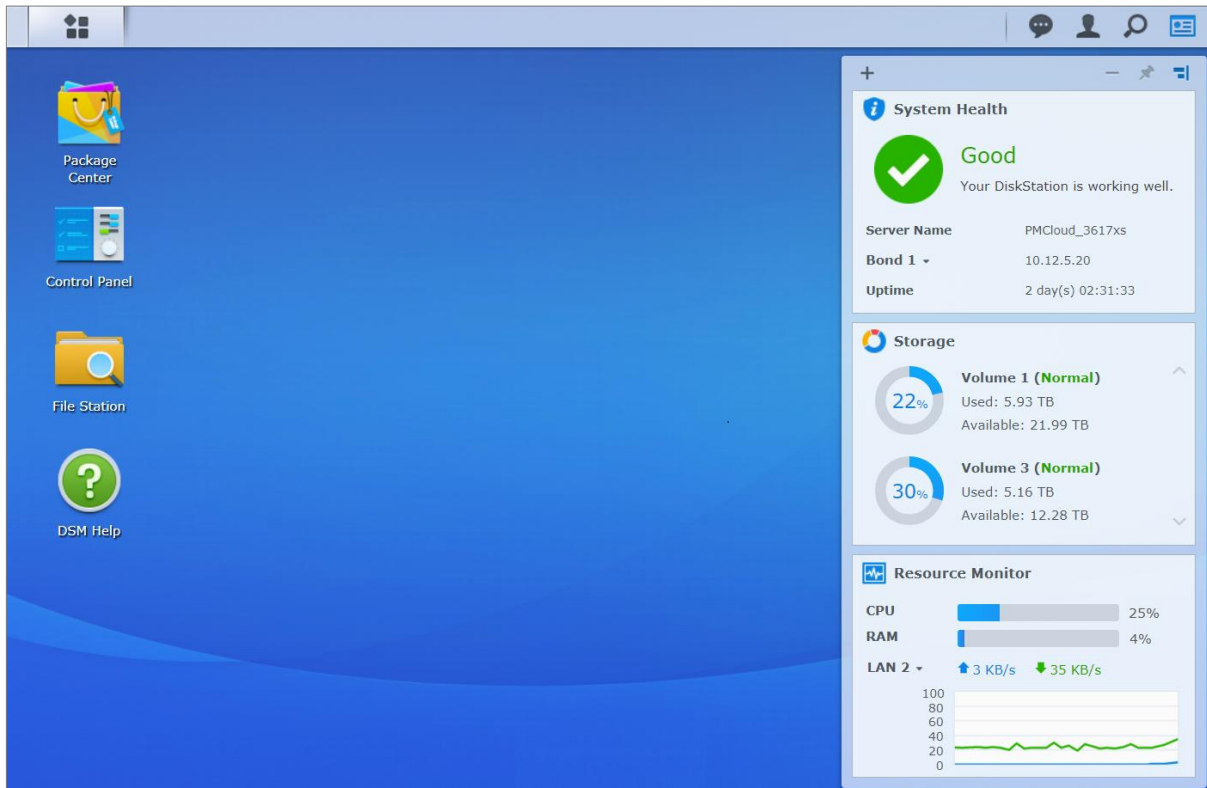


- デスクトップを表示:** 開いているすべてのアプリケーションとパッケージ画面が最小化されます。
- メインメニュー:** Synology NAS にインストールされたアプリケーションやパッケージを開いて表示します。また、クリック アンド ドラッグでデスクトップにショートカットを作成することもできます。
- アプリケーションを開く:**
 - アプリケーションのアイコンをクリックすると、デスクトップのウィンドウを表示または非表示にします。
 - アイコンを右クリックして、ショートカットメニュー（**最大化**、**最小化**、**復元**、**閉じる**）、またはそのタスクバーアイコン（**タスクバーにピン留め**、**タスクバーからピン留め解除**）から選択してアプリケーションウィンドウを操作します。
- アップロードキュー:** ファイルを Synology NAS にアップロードすると表示されます。進行状況やアップロード速度などの情報を見るには、ここをクリックしてください。
- 外部デバイス:** 外部デバイス（USB ドライブなど）が Synology NAS に繋がっているときに表示されます。
- 通知:** エラー、状態更新、パッケージのインストール通知などの通知が表示されます。
- オプション:** 個人のアカウント設定をシャットダウン、再起動、ログアウト、変更できます。

- 8 **検索:** 特定のアプリケーション、パッケージ、DSM のヘルプを手早く探せます。
- 9 **ウィジェット:** ウィジェットを表示、非表示にします。
- 10 **パイロットビュー:** 開いているすべてのアプリケーションとパッケージの画面をプレビューします。このボタンを **[オプション]** > **[パーソナル]** > **[その他]** で有効化します。

ウィジェット

ウィジェットには、Synology NAS に関連するさまざまなシステム情報が表示されます。



ウィジェット パネルを開く/閉じる:

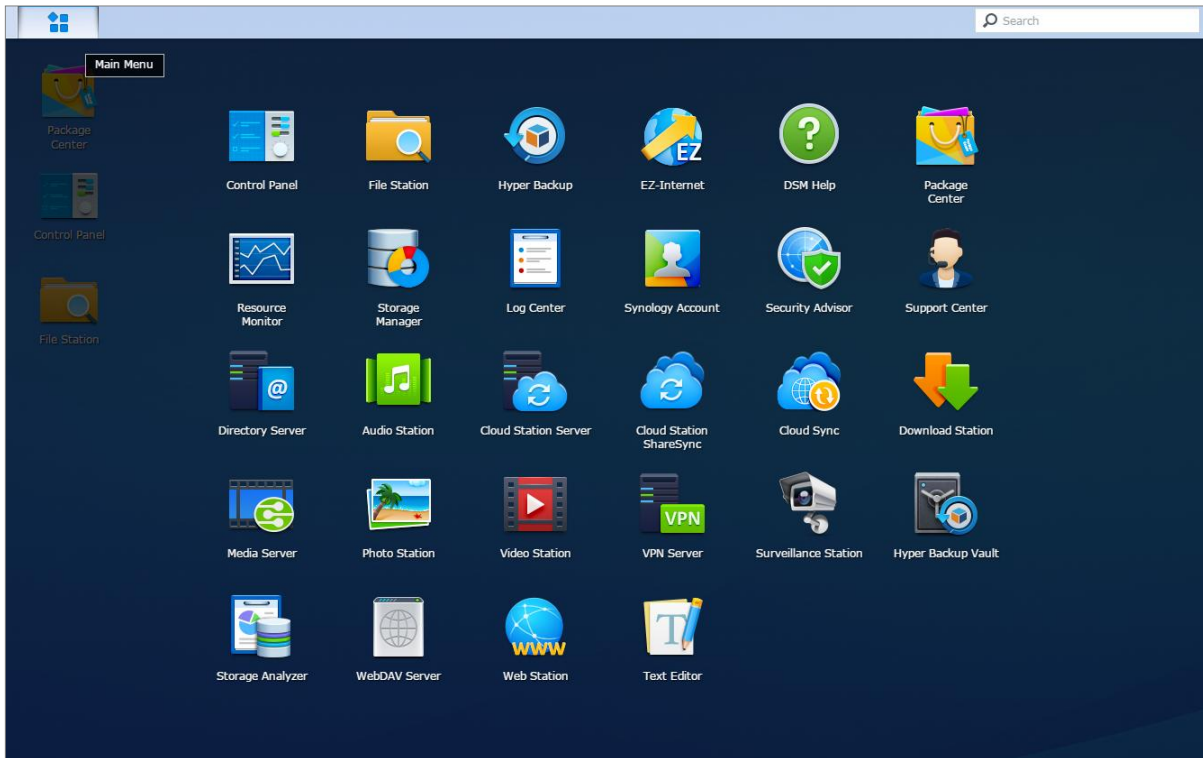
ウィジェット をクリックすると、ウィジェット パネルが表示または非表示になります。

+ をクリックすると、表示するウィジェットを選択できます。次の中から選択してください。

- **バックアップ:** バックアップ タスクの状態が表示されます。
- **接続中のユーザー:** 現在 Synology NAS リソースにアクセスしているユーザーリストが表示されます。
- **ファイル変更ログ:** Synology NAS サービスのファイル変更ログ記録が表示されます。
 - **アクティブなログなし:** ログ (Samba、WebDAV、FTP、File Station) のいずれもが有効化されていない時に表示されます。
 - **有効なログがありません:** ログ (Samba、WebDAV、FTP、File Station) のいずれかが有効化されている時に現れます。
- **最近のログ:** Synology NAS サービスのログ記録が表示されます。
- **リソースモニタ:** CPU 使用状況、メモリ使用状況、ネットワークフローをモニター
- **スケジュールされたタスク:** 予定タスクがリストされます。
- **ストレージ:** Synology NAS のボリューム使用量とドライブの状態が表示されます。
- **システムの状態:** Synology NAS と接続されているデバイス (存在する場合) の全体的な状態が表示されます。システムにエラーが生じたときには、これを修正するための処置を行ってください。

メインメニューでアプリケーションとパッケージを開く

メインメニュー (デスクトップの左上にあるボタン) で、**パッケージセンター**から Synology NAS にインストールしたアプリケーションとパッケージをすべて見ることができます。



アプリケーションまたはパッケージを開く:

メインメニューを開き、開きたいアプリケーションかパッケージのアイコンをクリックします。

アイコンを並べ替える方法:

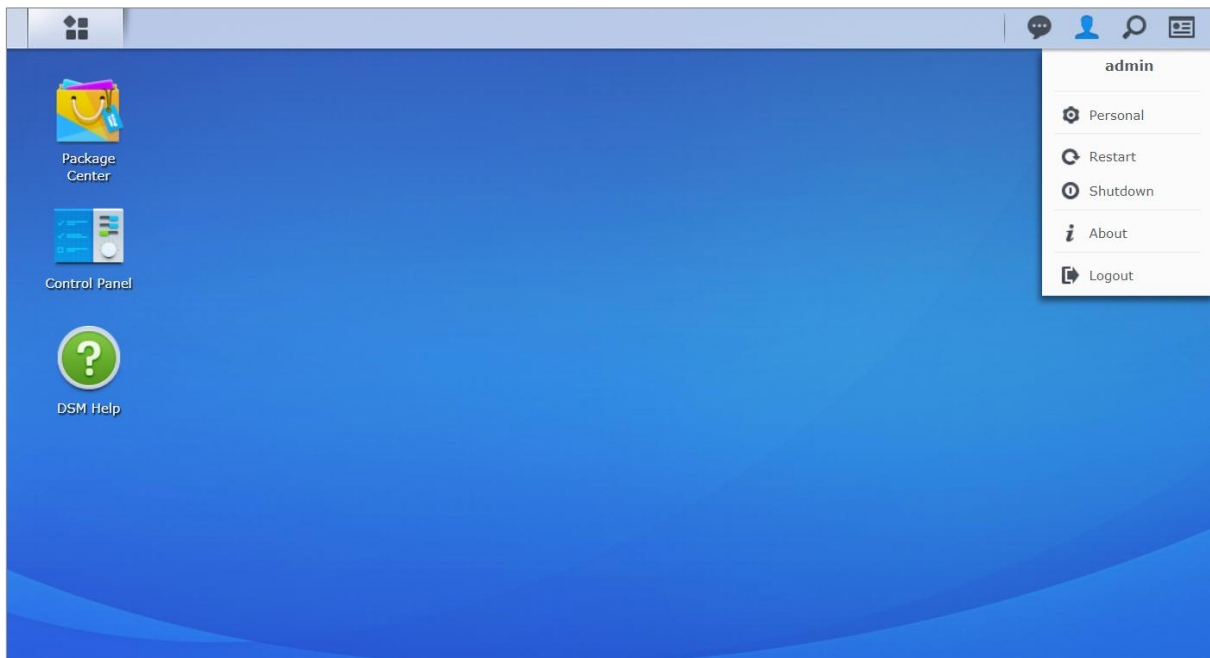
[メインメニュー]を開いて、アイコンを希望の位置にドラッグします。

デスクトップのショートカットを作成する:

[メインメニュー]を開いて、アイコンを端にドラッグします。

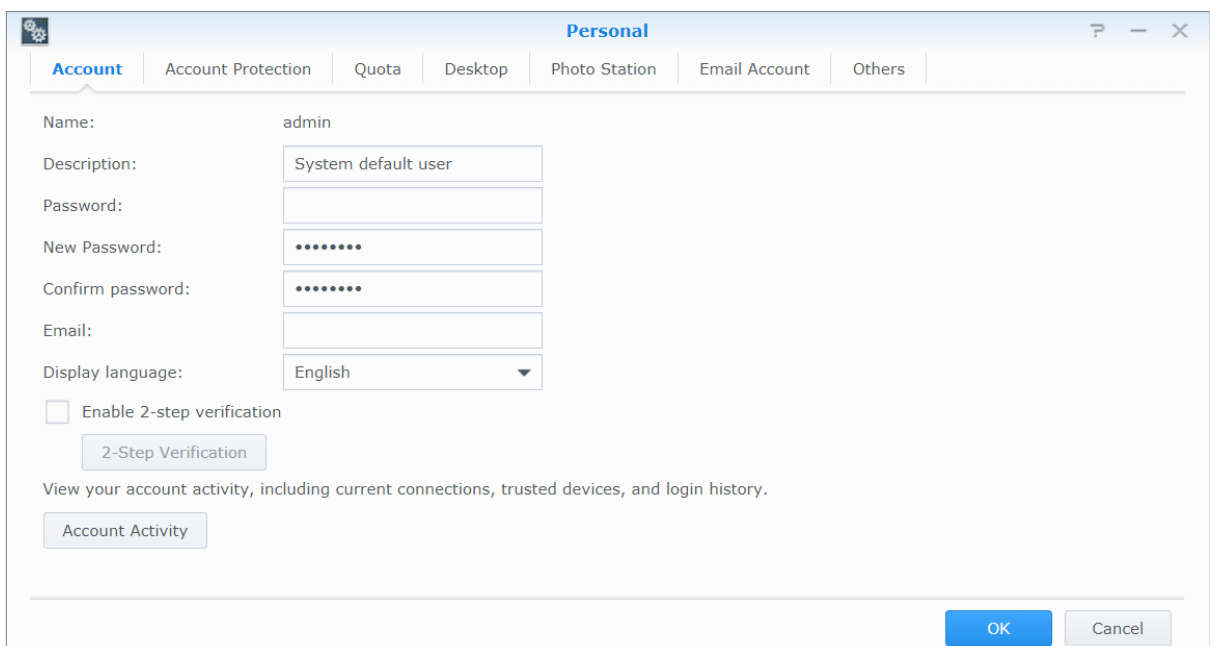
シャットダウン、再起動、ログアウト、個人設定

シャットダウン、再起動、ログアウト、または設定を管理するには、**[オプション]**メニュー（右上にある人の形をしたアイコン）をクリックします。



個人設定を管理する方法:

ドロップダウンメニューから**[パーソナル]**を選択して、パスワード、2ステップ認証、デスクトップなどの個人アカウント設定を管理します。



アカウント

[**アカウント**] 下で、アカウント設定を編集したり、2ステップ認証を有効にしたり、DSM アカウントへの最近のログイン状況を確認したりすることができます。

制限:

- ユーザの説明には全角で 32 文字、半角で 64 文字まで入力できます。
- パスワードは半角英数字、記号、スペースを使用した 0~127 文字まで登録可能です。英字の大文字小文字も区別されるので、気を付けてください。

2ステップ認証

2ステップ認証は、DSM アカウントの安全性をさらに高める機能です。2ステップ認証が有効になっているときには、DSM ログイン時にパスワードとは別に 1 回限りの認証コードを入力する必要があります。認証コードは、モバイル デバイスにインストールされた認証アプリから取得できます。つまり、誰かがお客様のアカウントにアクセスしようと思ったら、お客様のユーザー名とパスワードの他にお客様のモバイル デバイスも必要となるということです。

要件:

2 段階認証には、モバイル デバイスと TOTP (Time-based One-Time Password) プロトコルに対応する認証アプリが必要です。認証システム アプリには、Google Authenticator (Android/iPhone/BlackBerry) または Authenticator (Windows Phone) があります。

アカウントのアクティビティ

アカウントのアクティビティには、あなたの DSM アカウントでの、現在の接続、記憶されているデバイス、ログイン履歴などの、ログインのアクティビティが表示されます。

アカウント保護

アカウント保護下で、信頼できるクライアントの管理や保護のキャンセルといったアカウント保護に関するアクションを実行できます。このタブが利用できるのは、**administrators** グループに属するユーザーが [**コントロールパネル**] > [**セキュリティ**] > [**アカウント**] > [**アカウント保護**] でアカウント保護を有効化している場合のみです。

割当量

[**割当量**] 下では、DSM **administrators** が設定したすべての Synology NAS ポリ्यूームのみならず、それぞれのポリ्यूームで自分が使用している容量を確認できます。Btrfs サポートのあるモデルでは、それぞれの共有フォルダの割当量と容量の使用量も見ることができます。

デスクトップ

[**デスクトップ**] 下では、デスクトップの表示をカスタマイズできます。メインメニューのスタイルやアイコンのサイズ、デスクトップの背景や文字の色を変えたり、画像をアップロードしてデスクトップの壁紙として使用したりすることが可能です。

Photo Station

このタブは、**administrators** グループに属するユーザーが Photo Station で個人用 Photo Station サービスを有効にした時にのみ表示されます。Synology NAS には **home/photo** フォルダが用意されており、共有する写真やビデオを保存できます。システムが写真やビデオのサムネイル インデックスを自動的に作成し、ユーザーは Web ブラウザを通じて写真アルバムを閲覧することができます。

電子メール アカウント

ここで追加する E メール アドレスを使って、File Station に保管されているファイルを添付ファイルとして送信できるように、E メール アカウントを追加したり編集したりすることができます。

その他

[その他] 下では、その他の個人用設定をカスタマイズすることができます。個人オプションについての詳細は、**DSM ヘルプ**を参照してください。

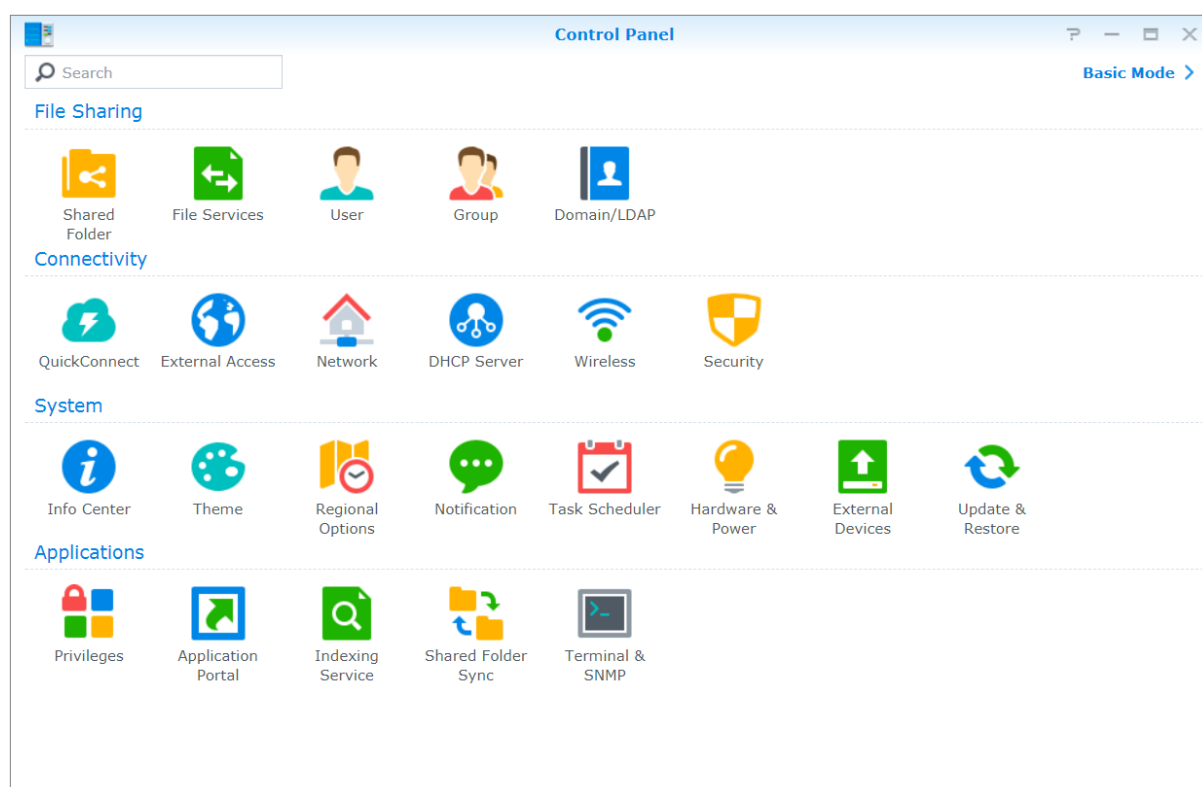
システム設定の変更

Synology DiskStation Manager (DSM) に接続し、その機能の使い方と外観のカスタマイズの仕方を覚えたら、**administrators** グループに属しているユーザーは、その基本設定を変更することができます。

この章ではネットワーク設定、ディスプレイ言語、時間の変更、および緊急用保存機能について説明します。詳細な指示は、**DSM ヘルプ**を参照してください。

コントロールパネルを使う

[メインメニュー] で [コントロールパネル] を選択すると、DSM 設定を構成できます。



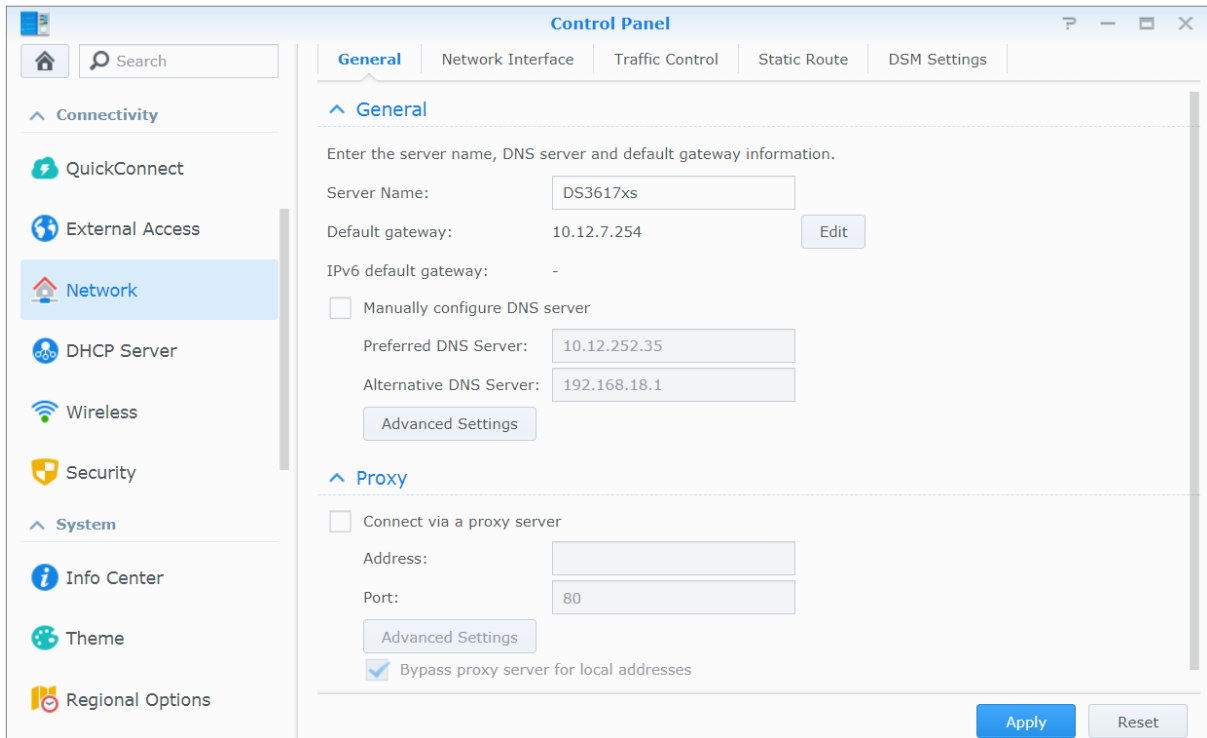
コントロールパネルの DSM 設定は以下のカテゴリーにグループ分けされています。

- **ファイルの共有:** ファイルをホストしたり、他の人と簡単に共有したりするためのファイル共有オプションを設定します。
- **接続性:** インターネットで Synology NAS にアクセスできるようにしたり、ファイアウォールや自動ブロックなどのセキュリティメカニズムで NAS を保護します。
- **システム:** Synology NAS デバイスのシステム設定を管理します。
- **アプリケーション:** Synology 製アプリケーションに関する一般的な設定を管理します。

注: コントロールパネルは、**administrators** グループに属するユーザーしか使用できません。詳細情報は、「グループ作成」を参照してください。

ネットワーク設定の変更

ネットワークの設定を行い、Synology NAS デバイスをインターネットに接続するには **[コントロールパネル]** > **[ネットワーク]** を選択します。クライアントが Synology NAS にアクセスする際の、送信トラフィックを調整するためのトラフィックコントロール規則も管理できます。詳細な指示は、**DSM ヘルプ**を参照してください。



全般

[全般] タブには、Synology NAS の名前や既定のゲートウェイを編集したり、ドメインネームサーバーやプロキシサーバーの設定、IPv6 トンネリングを行うためのオプションがあります。

ネットワーク インターフェイス

[ネットワーク インターフェイス] タブには、Synology NAS がネットワークに接続するためのネットワーク インターフェイスを管理するためのオプションがあります。

トラフィック コントロール

トラフィック コントロールは、Synology NAS 上で実行するサービスの送信トラフィックを制御します。**[作成]** をクリックしてトラフィック コントロール規則を作成してください。

スタティックルート

固定ルートは、ネットワーク情報が特定のホストや Synology NAS 上のネットワークに到達するためにたどるべきパスを制御します。**[作成]** をクリックして、固定ルートを作成します。

DSM 設定

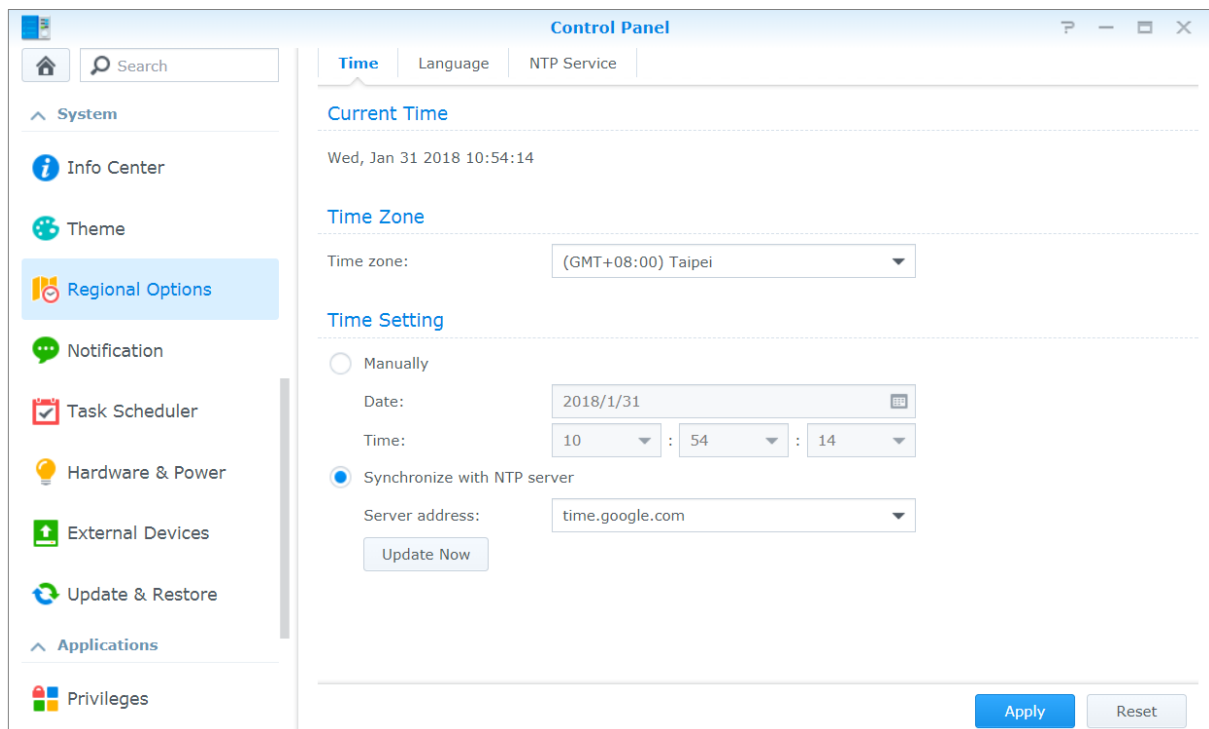
DSM にアクセスするポート番号を変更したり、HTTPS 設定を行ったりします。HTTPS 接続を有効にすると、HTTPS プロトコル経由の Synology NAS への接続は SSL/TLS 暗号化メカニズムで暗号化されます。

ワイヤレス ネットワークに接続¹

[コントロールパネル] > [ワイヤレス], では、Synology NAS デバイスをワイヤレス ネットワークに接続したり、ワイヤレス ホットスポットを作成してインターネット接続を他のデバイスとワイヤレスで共有したりすることができます。また、Bluetooth アダプタを管理したり、Bluetooth デバイスを Synology NAS に接続することも可能です。詳細な指示は、[DSM ヘルプ](#)を参照してください。

地域のオプション変更

[コントロールパネル] > [地域オプション] の順に選択して、以下の地域のオプションを設定してください。詳細な指示は、[DSM ヘルプ](#)を参照してください。



時間

[時間] タブをクリックして、Synology NAS のシステム時間を設定してください。現在の時刻を確認したり、サーバーの日付と時刻を手動で設定する、またはネットワークタイムサーバーを使用して自動的に設定したりできます。

言語

[言語] タブをクリックして、Synology DiskStation Manager の言語を設定し、通知を有効にして、ユニコードのファイル名変換用のコードページを指定します。

- **表示言語:** 優先的な表示言語、またはブラウザのデフォルト設定と同じ言語を選択できます。
- **通知言語:** Synology NAS の電子メール通知およびインスタント メッセージング通知で使用する優先言語を設定します。

¹ 特定のモデルのみが使用できます。

- **[文字コード]:** Synology NAS は、別の言語を使用しているコンピュータがファイルにアクセスできないという事態が発生しないように、ユニコードを使用します。ただし、以下のデバイスまたはアプリケーションが問題なく Synology NAS サービスを使用できるようにするには、それぞれに適切なコードページを選択する必要があります。
- ユニコードをサポートしないコンピュータ
- FTP サービス、UPnP サポート、音楽メタデータのインデックス化など、非ユニコードをユニコードに変換するアプリケーション

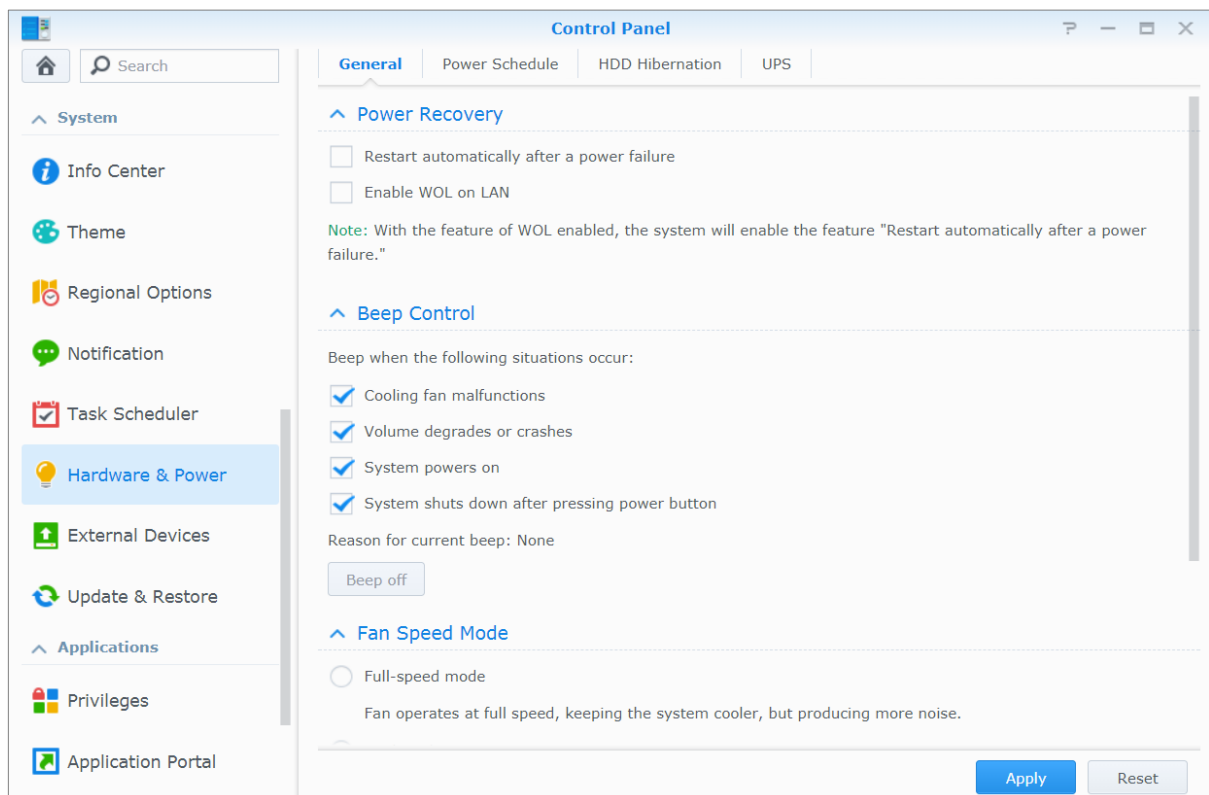
NTP サービス

Synology NAS をネットワークタイム サーバーにして、別のネットワーク機器と Synology NAS がネットワークを介して時間を同期できるようにするには、**[NTP サービス]** をクリックします。

注: Surveillance Station と Synology High Availability には NTP サービスが必要です。したがって、Surveillance Station がインストールされており、Synology NAS で起動されている場合は、パッケージを起動している間はこのサービスを無効にすることはできません。

省エネ機能を使う

[コントロールパネル] > **[ハードウェアと電源]** の順に選択し、DSM に装備されている次の省エネ機能を管理します。詳細な指示は、**DSM ヘルプ**を参照してください。



全般

電源復旧、WOL（ウェイク オン ラン）¹、メモリ圧縮を有効するには、**[全般]** タブをクリックします。また、警告音の設定やファン速度モードも変更できます。

電源スケジュール¹

[電源スケジュール] タブをクリックして、特定の時間に自動的にスタートアップまたはシャットダウンするように設定します。

HDD ハイバネーション

[HDD ハイバネーション] タブをクリックして、Synology NAS のすべての内部ディスク、および外部ディスクのハイバネーションを管理します。

ドライブが HDD ハイバネーションモードになると、回転を停止して無効状態になります。これは省エネのほかにも、ドライブの寿命を長くするという効果があります。

UPS

[UPS] タブでは、UPS 関連設定を変更できます。UPS（無停電電源装置）は、停電になってもしばらくの間であれば Synology NAS を稼働し続けられるバックアップ用電源装置です。この機能は、電源が切れてシャットオフしてしまう前に Synology NAS がデータを保存し、ボリュームをアンマウントするのに十分な時間を与えることで、データの消失を防止します。Synology NAS はローカル デバイス、または SNMP UPS デバイスに接続できます。

¹ 特定のモデルのみが使用できます。

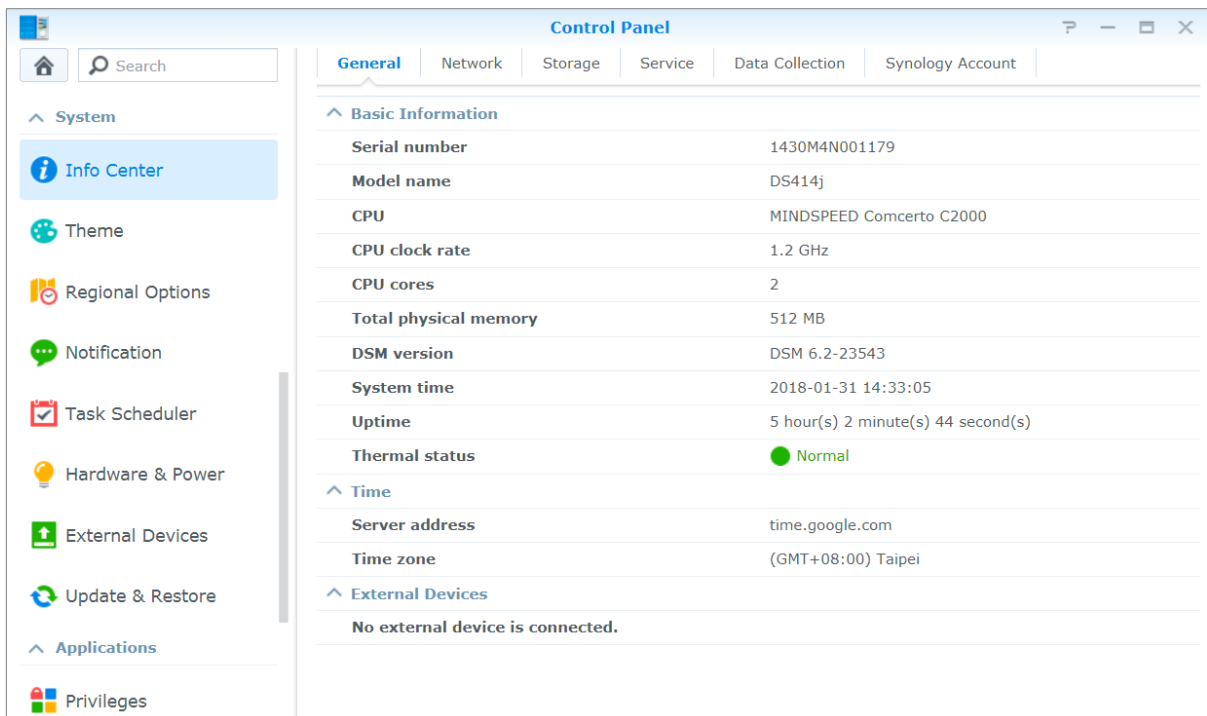
高度な管理タスクの実施

Synology DiskStation Manager にはシステム情報のチェック、システムリソースのモニタリング、通知サービスの管理、DSM の復元またはアップグレード、個別のログインでアプリケーションにアクセス、マルチメディアファイルのインデックス化などを含むさまざまな管理機能が装備されています。

この章では、Synology NAS でベストパフォーマンスを実現するために高度な管理機能を使用する方法について説明します。詳細な指示は、[DSM ヘルプ](#)を参照してください。

システム情報のチェック

情報センターには、Synology NAS やその他接続されているデバイスの状態が表示されます。[\[コントロールパネル\]](#) > [\[情報センター\]](#) を選択して、次の情報をチェックしてください。詳細な指示は、[DSM ヘルプ](#)を参照してください。



The screenshot shows the Synology Control Panel interface. The left sidebar contains navigation options: System, Info Center (selected), Theme, Regional Options, Notification, Task Scheduler, Hardware & Power, External Devices, Update & Restore, Applications, and Privileges. The main content area is titled 'Control Panel' and has tabs for General, Network, Storage, Service, Data Collection, and Synology Account. The 'General' tab is active, showing 'Basic Information' and 'Time' sections.

Basic Information	
Serial number	1430M4N001179
Model name	DS414j
CPU	MINDSPEED Concerto C2000
CPU clock rate	1.2 GHz
CPU cores	2
Total physical memory	512 MB
DSM version	DSM 6.2-23543
System time	2018-01-31 14:33:05
Uptime	5 hour(s) 2 minute(s) 44 second(s)
Thermal status	● Normal

Time	
Server address	time.google.com
Time zone	(GMT+08:00) Taipei

External Devices

No external device is connected.

全般

[全般] タブでは、シリアル番号、モデル番号、物理メモリの量、DSM バージョン、時間情報、温度情報、外付けデバイスなど、Synology NAS についての基本情報を見ることができます。

ネットワーク

[ネットワーク] タブには、ネットワーク設定とインターフェースの状態が表示されます。

ストレージ

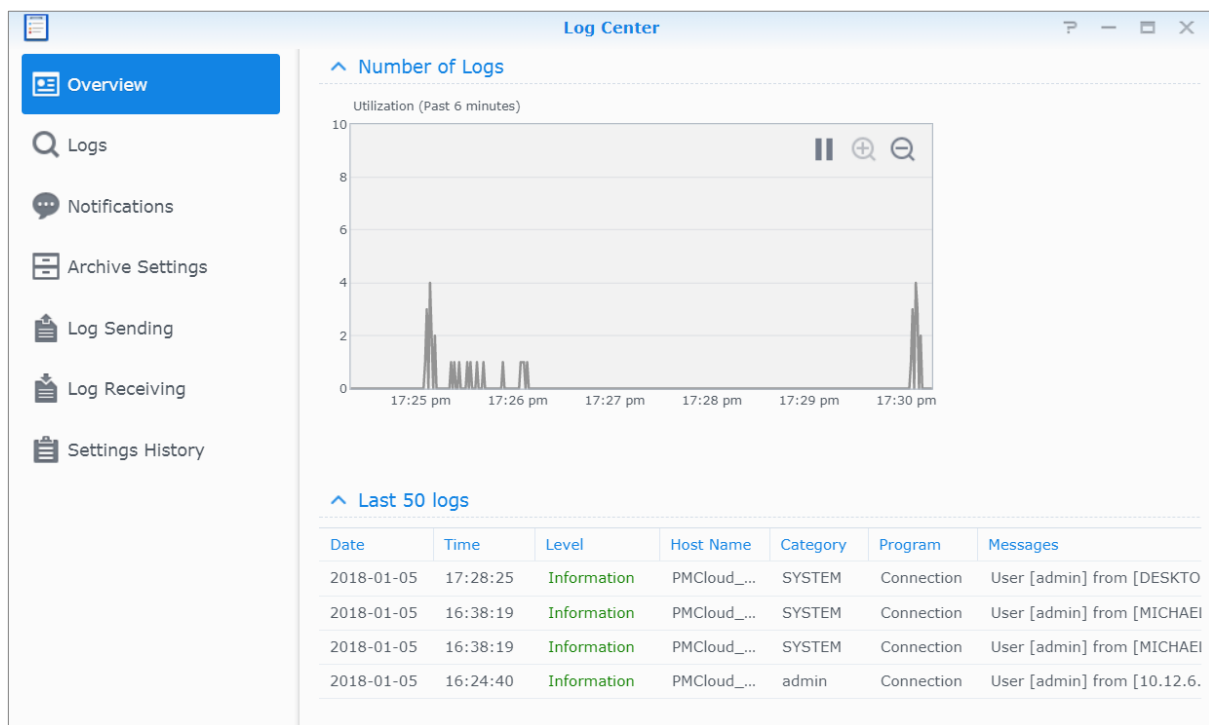
[ストレージ] タブでは、Synology NAS ボリュームの使用量、または空き領域をチェックしたり、ハードディスクの状態をチェックしたりすることができます。

サービス

[サービス] タブでは、**[操作]** 欄で **[有効]** または **[無効]** をクリックして有効化または無効化することができる、DSM のリストを見ることができます。**[状態]** 欄のチェックマークは、サービスが有効になっているかどうかを示すものです。

システムログを見る

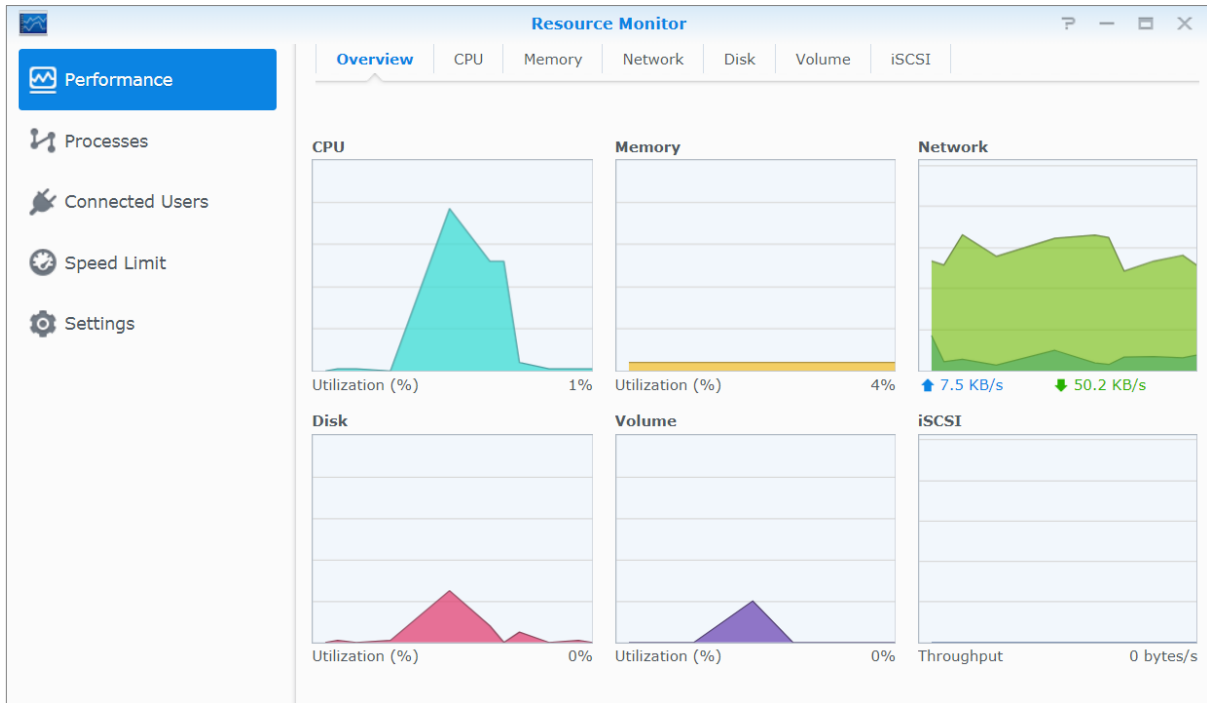
ログセンターは、Synology NAS サービスのログ記録を効率的に見たり、管理したりするための集中ログ管理アプリケーションです。高度な機能を使用するには、**[パッケージセンター]** から **[ログセンター]** パッケージをインストールしていただく必要があります。詳細な指示は、**DSM ヘルプ**を参照してください。



Date	Time	Level	Host Name	Category	Program	Messages
2018-01-05	17:28:25	Information	PMCloud_...	SYSTEM	Connection	User [admin] from [DESKTO
2018-01-05	16:38:19	Information	PMCloud_...	SYSTEM	Connection	User [admin] from [MICHAEI
2018-01-05	16:38:19	Information	PMCloud_...	SYSTEM	Connection	User [admin] from [MICHAEI
2018-01-05	16:24:40	Information	PMCloud_...	admin	Connection	User [admin] from [10.12.6.

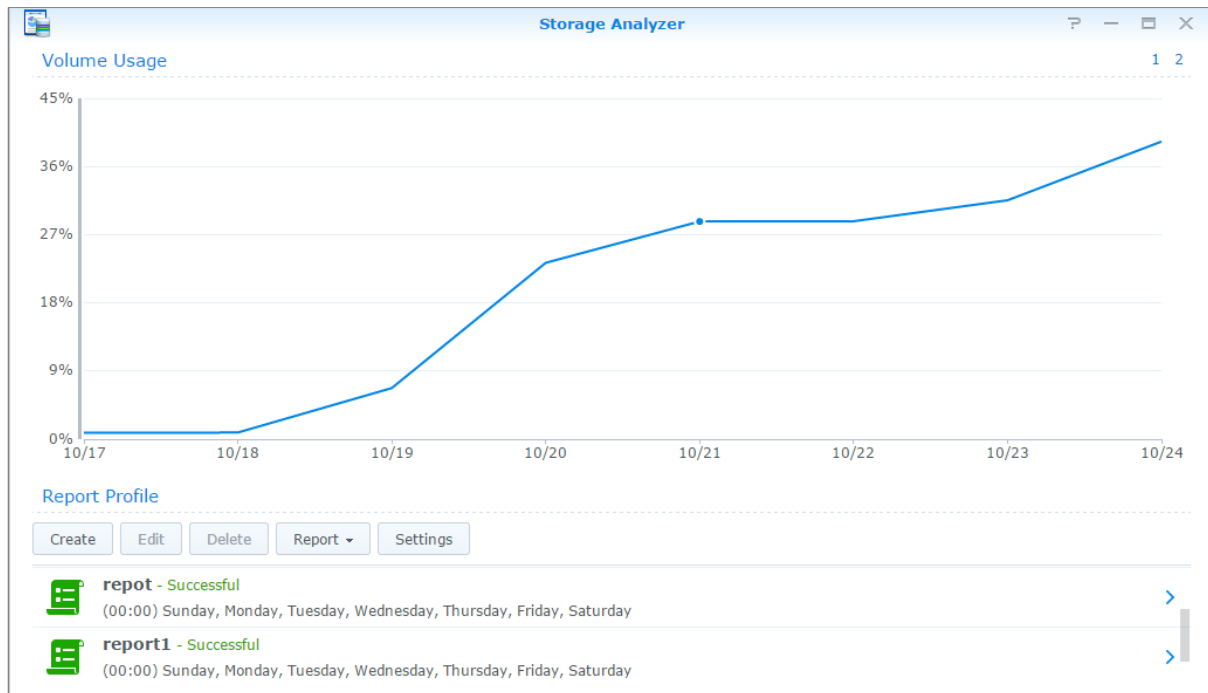
システムリソースの監視

リソース モニタを使うと、CPU 使用状況、メモリ使用状況、ディスクの使用、ネットワークフローなどが監視できます。リアルタイム監視、または以前のデータのいずれかを見ることができます。詳細な指示は、**DSM ヘルプ**を参照してください。



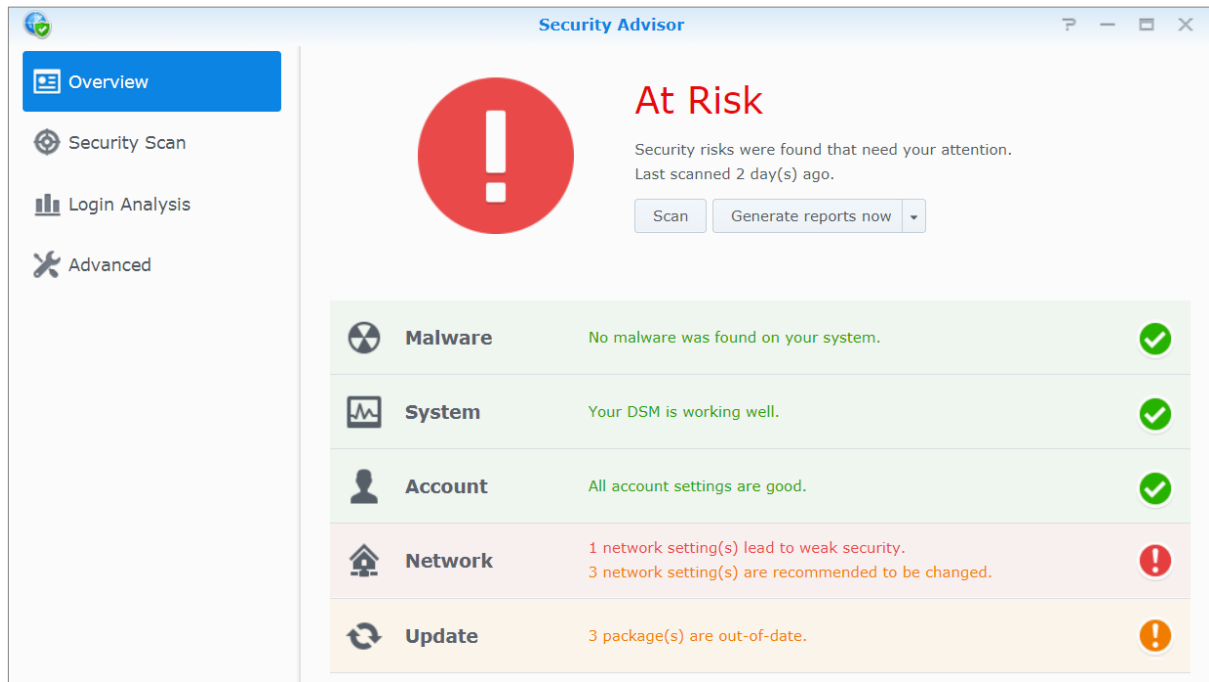
システム使用累計の分析

ストレージアナライザーはアドオンパッケージで、Synology NAS の全体的な使用傾向を簡単に確認したり、ストレージスペースを分析するためのタスクを作成したり、ボリューム使用量の詳しいレポートを作成したりすることができます。ストレージアナライザーを Synology NAS にインストールするには、**[パッケージセンター]**を選択します。詳細な指示は、**DSM ヘルプ**を参照してください。



システム設定をスキャンする

セキュリティアドバイザーでは、セキュリティを侵すリスクがある疑わしいアクティビティについて、DSM 設定をチェック、スキャンすることができます。詳細な指示は、**DSM ヘルプ**を参照してください。



The screenshot displays the Security Advisor window. The main heading is "At Risk" in red, accompanied by a large red exclamation mark icon. Below this, a message states: "Security risks were found that need your attention. Last scanned 2 day(s) ago." There are two buttons: "Scan" and "Generate reports now".

The left sidebar contains the following menu items: Overview (selected), Security Scan, Login Analysis, and Advanced.

The main content area shows a list of scan results:

Category	Status	Action
Malware	No malware was found on your system.	✓
System	Your DSM is working well.	✓
Account	All account settings are good.	✓
Network	1 network setting(s) lead to weak security. 3 network setting(s) are recommended to be changed.	!
Update	3 package(s) are out-of-date.	!

High-Availability ソリューションを導入する

High Availability Manager では、2 台のサーバーで「high-availability」クラスタを構成することができます。この場合、1 台をアクティブサーバー、もう 1 台をパッシブサーバーとして活用します。アクティブサーバーが故障したときには、パッシブサーバーがすべてのサービスを引き継ぎますのでサーバーのダウンタイムを最短に抑えることができます。詳細な指示は、[DSM ヘルプ](#) と [High Availability ホワイトペーパー](#) を参照してください。

The screenshot shows the High Availability Manager interface. At the top, it indicates the status is 'Normal' with a green checkmark. Below this, it shows the cluster name 'PMLab (192.168.18.229)' and two hosts: 'SHA_Office_5F (192.168.18.227)' which is 'Active', and 'SHA_Office_6F (192.168.18.228)' which is 'Passive'. A diagram shows the two hosts connected. Below the hosts, there is a 'Heartbeat' section with 'Connection Status' (Normal), 'Transfer Speed' (98.8 KB/s), and 'Latency' (0.14 ms). At the bottom, there is a 'Host Utilization' table:

	SHA_Office_5F (Active)	SHA_Office_6F (Passive)
CPU Utilization	16%	6%
CPU Load Average	2.69 / 1 min	1.94 / 1 min

自動タスク

[コントロールパネル] > [タスク スケジューラー] の順に選択すると、指定した時間にサービスやスクリプトを実行するように設定することができます。指定したスクリプトを自動的に実行するようしたり、共有フォルダのごみ箱を空にしたり、特定サービスを開始、停止したりするためにタスクを作成、管理してください。詳細な指示は、[DSM ヘルプ](#) を参照してください。

DSM の更新またはデフォルトに戻す

[コントロールパネル] > [更新と復元] を選択すると、DSM を新しいバージョンに更新したり、システム設定をバックアップ、復元したり、Synology NAS デバイスを初期値に戻したりすることができます。Synology NAS を常に最新の状態に保てるように、DSM アップデートを自動的にインストールするスケジュールを設定することもできます。

重要: Synology NAS に保存されたデータは更新処理中に消去されません。但し、安全のために、サーバーのデータは必ずバックアップしてください。

イベント通知の受信

[コントロールパネル] > [通知] を選択すると、特定のイベントやエラーが発生したときに、Eメール、SMS、ウェブブラウザ（Safari/Chrome）、モバイル デバイス等の方法で Synology NAS から通知が発信されるように設定することができます。詳細な指示は、[DSM ヘルプ](#)を参照してください。

独立したログインでアプリケーションにアクセス

アプリケーション ポータルを活用すると、さまざまなアプリケーションの接続設定を行うことができます。そのため、これらのアプリケーションを個別のブラウザ タブや画面でアクセス、起動することができるようになります。アプリケーション ポータルを有効にするには、[コントロールパネル] > [アプリケーション ポータル] の順に選択します。

カスタマイズしたエイリアス

ポータル エイリアスを設定すると、アプリケーションは [http(s)://DSM サーバーアドレス:DSM サーバー ポート番号 [HTTP(S)]/エイリアス名/] の独立したブラウザ ウィンドウに開きます。

カスタマイズした HTTP(S) ポート

HTTP(S) ポートを設定すると、アプリケーションは [http(s)://DSM サーバーアドレス:カスタマイズしたポート番号] の独立したブラウザ ウィンドウに開きます。

アプリケーション用にマルチメディア ファイルにインデックスを付ける

[コントロールパネル] > [インデックス サービス] を選択し、Synology NAS に保存されているフォト、ミュージック、ビデオなどのマルチメディア ファイルを自動的にスキャンして、マルチメディア アプリケーションがインデックス化できるようにマルチメディア ライブラリにコンパイルします。詳細な指示は、[DSM ヘルプ](#)を参照してください。

admin パスワードをリセットする

admin のパスワードを忘れたために DSM にログインできない場合は、パスワードを空白にリセットしてから新しいパスワードを設定することができます。

admin のパスワードをリセットする方法:

Synology NAS の背面パネルにある [リセット] ボタンをボタンを音が鳴るまで 4 秒間押し続けます。

注: 管理者パスワードをリセットするほかにも、[リセット] ボタンを使うと、Synology NAS の IP と DNS もデフォルト値に復旧されます。

Synology NAS の再インストール

データを失わずに Synology NAS を再インストールする場合は、背面パネルの **[リセット]** ボタンを使用します。

Synology NAS を再インストールする:

- 1 Synology NAS が音を鳴らすまで約 4 秒間 **[リセット]** ボタンを押し続けます。
- 2 次の 10 秒間、Synology NAS が音を鳴らすまで約 4 秒間、**RESET** ボタンを押し続けます。
- 3 お使いのモデル用のハードウェアインストールガイド(Synology の **ダウンロードセンター** で利用可能) のインストール指示に従って、Synology NAS の設定を行ってください。

重要: Synology NAS に保存されたデータは再インストール中に消去されません。但し、安全のために、サーバーのデータは必ずバックアップしてください。

SNMP サービスを有効にする

[コントロールパネル] > **[端末と SNMP]** の順に選択し、SNMP サービスを有効にして、ネットワーク管理ソフトウェアを使ってユーザーが Synology NAS ネットワークのフローを監視できるようにします。

ターミナルサービスを有効にする

[コントロールパネル] > **[端末と SNMP]** の順に選択し、端末サービスを有効にして、Telnet または SSH を使って Synology NAS にログインし、設定を変更できるようにします。

重要: ターミナルサービスは慎重に使用してください。Synology NAS を不適切に操作または変更すると、システムの不具合やデータ損失につながります。

ストレージスペースの管理

Synology NAS の各種機能を利用するには、1 つ以上のストレージスペースを設定する必要があります。この章では、Storage Manager を使ってさまざまなタイプの RAID と非 RAID のストレージスペース (ストレージプールやボリュームなど) を管理したり、インストールされたドライブの状態を見たりする方法を説明します。詳細な指示は、[DSM ヘルプ](#)を参照してください。

ストレージプールとボリューム

ボリュームは、Synology NAS の基本的なストレージスペースで、ストレージプール上に構築されています。ボリュームを作成する前に、まずストレージプールを作成する必要があります。¹ **クイック作成モード**をサポートする Synology NAS の場合、ボリュームとストレージプールを同時に作成できます。そしてボリューム作成ウィザードが自動的にストレージの容量とパフォーマンスを最適化します。² 詳細な指示は、[DSM ヘルプ](#)を参照してください。

The screenshot shows the Storage Manager interface. At the top, it indicates the system is 'Healthy'. Below this, there are sections for 'All Storage Pools' and 'Volume Status'. The 'Volume Status' section shows two volumes: 'Volume 3 (Normal)' with a 29% usage and 'Volume 1 (Normal)' with a 18% usage. Below this is a table for 'Storage Pool' details.

Storage Pool ID	RAID type	Total size
Storage Pool 1 (Normal)	RAID 6 (With data protection)	29.1 TB
Storage Pool 3 (Normal)	RAID 5 (With data protection)	18.2 TB

¹ 一部のモデルの場合、DSM のインストール後、Storage Manager が自動的にボリュームとストレージプールを作成します。

² クイック作成モードは SHR (Synology Hybrid RAID) をサポートするモデルでのみ利用可能です。

ストレージ プールの作成

[Storage Manager] > [ストレージ プール] の順に進んで、[作成] をクリックし、以下のストレージ プールのタイプのうちのいずれかを選択します。詳細な指示は、[DSM ヘルプ](#)を参照してください。

タイプ	説明
より良いパフォーマンス	このタイプのストレージ プールは単一のボリュームしかサポートしませんが、より良いパフォーマンスを提供します。
より高い柔軟性	このタイプのストレージ プールは複数のボリューム、Synology Hybrid RAID (SHR)、および RAID Group 機能をサポートします。

クイック作成モードでモデル上にボリュームを作成

クイック作成モードをサポートする Synology NAS モデルの場合、ボリュームとストレージ プールの両方を同時に作成できます。¹ [Storage Manager] > [ボリューム] の順に進んで、[作成] をクリックします。以下の方法のうちのいずれかを選択してください。

方法	説明
クイック	初心者の方は、このオプションを選択してください。RAID タイプなど技術的な要素を心配せずに、ストレージの容量やパフォーマンスを自動的に最適化したい場合は、このモードを選んでください。
カスタマイズ	RAID タイプや容量の割り当てなど、ボリューム作成の高度なオプションを構成したいユーザー向け。

その他のモデル上にボリュームを作成

Synology NAS に割り当て可能なスペースを持つ既存のストレージ プールがあることを確認してください。[Storage Manager] > [ボリューム] の順に進んで、[作成] をクリックします。詳細な指示は、[DSM ヘルプ](#)を参照してください。

RAID タイプ

カスタムストレージ プールを作成する際には、インストールしたハード ドライブのモデルや数に応じて、次の RAID タイプを実装できます。

RAID タイプ	HDD の数	可能な障害 HDD #	説明	容量
SHR ²	1	0	Synology Hybrid RAID ボリュームは、異なるサイズのハード ドライブを組み合わせる場合に、ストレージ容量と性能を向上させます。2 台または 3 台のハード ディスクで構成される SHR ボリュームでは、1 ドライブ フォールト トレランスが可能になります。一方、4 台以上のハード ドライブで構成される SHR ボリュームの場合、1 ドライブまたは 2 ドライブのフォールト トレランスが可能になります。	1 x (HDD サイズ)
	2-3	1		システムによる最適化
	≥ 4	1-2		
Basic	1	0	Basic ボリュームは、独立した装置として 1 つのハードドライブで作成します。Basic ボリュームを作成する場合、1 度に選択できるハードドライブは 1 台だけです。	1 x (HDD サイズ)
JBOD	≥ 1	0	JBOD はハードドライブの集合体です。	HDD サイズの合計

¹ クイック作成モードは SHR (Synology Hybrid RAID) をサポートするモデルでのみ利用可能です。

² Basic 以外の RAID タイプは、特定のモデルのみ対応しています。詳細情報は、www.synology.com を参照してください。

RAID タイプ	HDD の数	可能な障害 HDD #	説明	容量
RAID 0	≥ 2	0	複数のハードドライブを組み合わせてストレージスペースを構築する RAID 0 は、データのブロック分割、複数のハードドライブをまたいでデータブロックの分散をするストライピングを提供します。ただし、安全対策はありません。	HDD サイズの合計
RAID 1	2-4	(HDD の数) - 1	システムはそれぞれのハードドライブに同じデータを一度に書き込みます。そのため、少なくとも 1 つのドライブが正常であればデータの整合性が維持されます。	HDD の最小サイズ
RAID 5	≥ 3	1	この設定にはバックアップオプションが用意されています。それはパリティ モードを使用して、1 台のドライブ サイズに匹敵するスペースに冗長なデータを保管して、後のデータ復元に備えます。	(HDD の数 - 1) x (HDD の最小サ イズ)
RAID 6	≥ 4	2	RAID 6 は、特別なデータ保護を提供します。それは、パリティ モードを使用して、冗長データを 2 つのドライブのサイズと同等のスペースに保管して、後のデータ復元に備えます。	(HDD の数 - 2) x (HDD の最小サ イズ)
RAID 10	≥ 4 (偶数)	各 RAID 1 グループ内に 1 HDD / 合計 HDD の半分	RAID 10 は、RAID 0 のパフォーマンスと RAID 1 レベルのデータ保護機能を備えています。RAID 10 は、2 台のハードドライブを 1 つの RAID 1 グループに結合し、すべてのグループを RAID 0 と結合します。	(HDD の数 / 2) x (HDD の最小サ イズ)
RAID F1	≥ 3	1	RAID F1 は、すべてのメンバードライブ上で分散されたパリティデータとともにブロックレベルのストライピングを実装します。それは特定のドライブにより多くのパリティ情報を書き込み、すべてのドライブが同時に故障することを防ぎます。オールフラッシュアレイに推奨。	(HDD の数 - 1) x (HDD の最小サ イズ)

ストレージプールの修復

修復機能は、RAID 1、RAID 10、RAID 5、RAID 6、RAID F1、および SHR の各ストレージプールで利用可能です。お使いの RAID タイプに応じて、ストレージプールのハードドライブのうちの 1 つが故障した場合、そのストレージプールのステータスが **[劣化]** に変更されます。ストレージプールの修復は、クラッシュしたドライブを交換することで行い、そのストレージプールにあるデータは保護されます。詳細な指示は、**DSM ヘルプ** を参照してください。

RAID タイプの変更

既存のストレージプールの RAID タイプは、既存のデータを消失させることなく変更できます。ですから、ストレージ容量を手軽に、経済的に管理することができます。例えば、Synology NAS に RAID 1 ボリュームを作成し、後からさらに多くのハードドライブを追加して RAID 5 タイプに変更するといったことが可能です。

ここでは、RAID タイプの変更についての基本情報を紹介します。詳細な指示は、**DSM ヘルプ** を参照してください。

対応する RAID タイプ

RAID タイプは次のように変更できます。

RAID タイプ	変更できるタイプ...
Basic	RAID 1、RAID 5
RAID 1	RAID 5
RAID 1 (ミラー ディスクを RAID 1 に追加)	RAID 1 (冗長性を増やすため)
RAID 5	RAID 6
SHR-1	SHR-2

ハードドライブの要件

ストレージ プールの RAID タイプを変更するためには、Synology NAS に十分な数のハード ドライブがインストールされている必要があります。RAID タイプ毎に必要なハードドライブの数については、次の表を参照してください。

RAID タイプ	最小ハード ドライブ数
RAID 1	2 または 4
RAID 5	3
RAID 6	4
SHR-2	4 または 5 (SHR-1 のドライブ構成による)

ボリュームとストレージ プールの拡張

ボリュームとストレージ プールのストレージ容量は、ハードディスクの数を増やしたり、容量の大きいハードドライブを追加することで徐々に拡大できます。この機能を使用すると、予算に応じてボリュームとストレージプールの容量を拡大していくことが可能になるため、大切なデータを確実に保持することができます。

ここでは、ボリュームやストレージ プールの拡大についての基本情報を紹介します。詳細な指示は、[DSM ヘルプ](#)を参照してください。

ボリュームの拡張

複数のボリュームをサポートするストレージ プール上で作成されたボリュームの場合 (より高い柔軟性) で、基礎となるストレージ プールに十分な容量がある場合は、そのサイズを変更することでボリュームを直接拡張できます。複数のボリュームへのサポートがないストレージ プール上で作成されたボリュームの場合、基礎となるストレージ プールを先に拡張する必要があります。詳細な指示は、[DSM ヘルプ](#)を参照してください。

ドライブを交換してストレージを拡張

SHR、RAID 1、RAID 5、RAID 6、RAID 10、および RAID F1 については、小さい容量のハードディスクを大きい容量のものに交換することでストレージ プールのストレージ容量を拡張できます。この方法で容量を拡張する場合は、ハード ドライブを注意して 1 台ずつ交換してください。ハード ドライブを 1 台交換する毎に、次のハード ドライブに取り掛かる前にストレージ プールを修復する必要があります。詳細な指示は、[DSM ヘルプ](#)を参照してください。

最初に交換すべきハードドライブを確認するには、次の表を参照してください。

RAID タイプ	メモ
SHR (Synology Hybrid RAID)	構成するすべてのハードドライブがすべて同じ容量のときは、2 台以上のハードドライブを取り換える必要があります。そうしなければ、ストレージプールの容量が拡張されません。
	メンバーハードドライブの容量が異なる場合は、新しく交換するハードドライブは既存のハードドライブの中で最も大きいものと同等か、それよりも大きくなければなりません。また、容量の使用量を最適化するために、まず小容量のメンバーハードドライブから取り換えてください。
RAID 1、RAID 5、RAID 6、RAID 10	これらの RAID タイプのストレージプールのハードドライブを交換するときは、ドライブの使用量を最大化するため一番小さいドライブを常に最初に交換する必要があります。

ドライブを追加してストレージプールを拡張

SHR、JBOD、RAID 5、RAID 6、および RAID F1 については、Synology NAS に予備のハードディスクベイがある場合は、ハードディスクを追加することによってストレージプールのストレージ容量を拡張することができます。詳細な指示は、[DSM ヘルプ](#)を参照してください。

交換用ハードドライブの最小サイズについては、次の表をご参照ください。

RAID タイプ	ハードドライブの最小サイズ
SHR	追加するドライブの容量は、ストレージプールのドライブの中で最も大きいものと同等か、それよりも大きいもの、またはストレージプールのドライブのいずれかと同等でなければなりません。例えば、2 TB、1.5 TB、1 TB の 3 つのドライブで構成される SHR ボリュームの場合、新しいドライブは最低でも 2 TB、または 1.5 TB または 1 TB と同等のものを準備してください。
RAID 5、RAID 6、RAID F1	追加するドライブの容量は、ストレージプールのドライブの中で最も小さいものと同等か、それ以上でなければなりません。例えば、2 TB、1.5 TB、1 TB の 3 つのドライブで構成されるボリュームの場合、新しいドライブの容量は最低でも 1 TB でなければなりません。

RAID/ファイル システム スクラブ

RAID/ファイルのスクラビングは、ストレージプールを調査し、検出されたあらゆるデータの不整合を修復するデータメンテナンス機能です。RAID スクラブは、SHR（3 台以上のドライブで構成）、RAID 5、RAID 6、または RAID F1 が導入されたストレージプールで使用できます。ファイルシステムスクラブは、Btrfs ファイルシステムのボリュームで使用できます。

データの整合性を維持し、ドライブの故障の場合、重要なデータの損失を避けるために、定期的に RAID/ファイルシステムのスクラビングを実行されることをお勧めします。詳細な指示は、[DSM ヘルプ](#)を参照してください。

SSD TRIM

ボリュームが SSD (Solid State Drives) だけで構成されている場合は、SSD TRIM を有効にするようお勧めします。この機能は、SSD 上に構築したボリュームの読み取り速度と書き込み速度を最適化し、効率を高めると同時に SSD の寿命も長くします。

SSD TRIM をセットアップする前に、[DSM ヘルプ](#) で詳しい手順と制限を確認してください。

注:

- SSD TRIM 機能は一部の Synology NAS モデルと RAID タイプでしかご使用いただけません。
- 一部の SSD モデルは RAID 5 と RAID 6 ボリュームでは SSD TRIM を実行できません。互換リストについては、www.synology.com をご覧ください。

ハード ドライブの管理

[HDD/SSD] タブでは、ハード ドライブの性能や健康状態を管理、分析するオプションを使って、Synology NAS にインストールされているハード ドライブの状態を監視することができます。このタブを表示するには、[\[ストレージ マネージャ\]](#) > [\[HDD/SSD\]](#) の順にクリックしてください。詳細な指示は、[DSM ヘルプ](#) を参照してください。

書き込みキャッシュ サポートを有効にする

書き込みキャッシュ サポートを有効にすると、Synology NAS の性能が向上します。この機能は特定のハード ドライブ モデルでしかサポートされていません。書き込みキャッシュサポートを使用している間は、データを保護するために UPS デバイスをご使用になることを強くお勧めします。また使用後は毎回システムをシャットダウンするようお勧めします。書き込みキャッシュを無効にすると、突然の停電によりデータが消失するリスクを低減することができますが、システムの性能が劣化します。

S.M.A.R.T. テストを実行する

ドライブの S.M.A.R.T. テストは、ハード ドライブの状態を調査、報告してドライブ不良の可能性を警告します。エラーが検出されたら、直ちにドライブを交換するようお勧めします。タスクを作成すると、S.M.A.R.T. テストを自動的に実行するように予約できます。

ドライブ情報のチェック

[\[Storage Manager\]](#) > [\[HDD/SSD\]](#) > [\[HDD/SSD\]](#) の順に進んで、ハード ドライブの横にある下向き矢印をクリックして、ハード ドライブのモデル名、シリアル番号、ファームウェア バージョン、および合計サイズを見ます。

SSD キャッシュ

SSD キャッシュ¹ ドライブは読み取り専用 (RAID 0) または読み書き (RAID 1、RAID 5、RAID 6) 構成にインストールまたはマウントし、ボリュームの読み取り/書き込み速度を向上させることができます。[\[Storage Manager\]](#) > [\[SSD キャッシュ\]](#) でキャッシュを作成して関連情報を見ることができます。

SSD のインストールに関する情報については、Synology NAS のハードウェア インストール ガイド¹を参照してください。SSD 管理についての詳細情報は、[DSM ヘルプ](#)または [Synology SSD キャッシュ ホワイトペーパー](#)を参照してください。

¹ SSD キャッシュは特定のモデルでしかサポートされていません。詳細情報は、www.synology.com を参照してください。

Hot Spare

Hot spare¹ ドライブとは、劣化したストレージ プールで故障したドライブを自動的に交換して補修するための、予備のハード ドライブのことです。Hot spare ドライブはグローバルに割り当てられて、ストレージ プールが以下の基準に一致する限り、Synology NAS 内のストレージ プールを保護します。

- ストレージ プールの RAID タイプは、データ保護を備えたものでなければなりません (例: RAID 1、RAID 5、RAID 6、RAID 10、RAID F1)。
- Hot spare のドライブサイズは、必ずストレージ プールで最小のドライブのサイズと同じ、またはそれ以上のサイズにします。

Hot Spare の管理

[Storage Manager] > [Hot Spare] > [管理] の順に進んで、Hot spare ドライブを割り当てて管理します。詳細な指示は、[DSM ヘルプ](#)を参照してください。

外部ドライブの管理

外付け USB または eSATA ドライブを Synology NAS の USB ポートか eSATA ポートに取り付けると、バックアップまたはファイル共有ができます。²

[コントロール パネル] > [外部デバイス] の順に進んで、取り付けられたドライブまたはプリンタをセットアップします。[外部デバイス] タブには、デバイス情報を確認したり、フォーマットを変更したり、デバイスを取り出したりするためのオプションがあります。[プリンタ] タブには、USB やネットワークプリンタを設定するためのオプションがあります。詳細な指示は、[DSM ヘルプ](#)を参照してください。

¹ Hot Spare 機能は特定モデルでしかご使用いただけません。

² eSATA は特定のモデルのみに対応しています。詳細情報は、www.synology.com を参照してください。

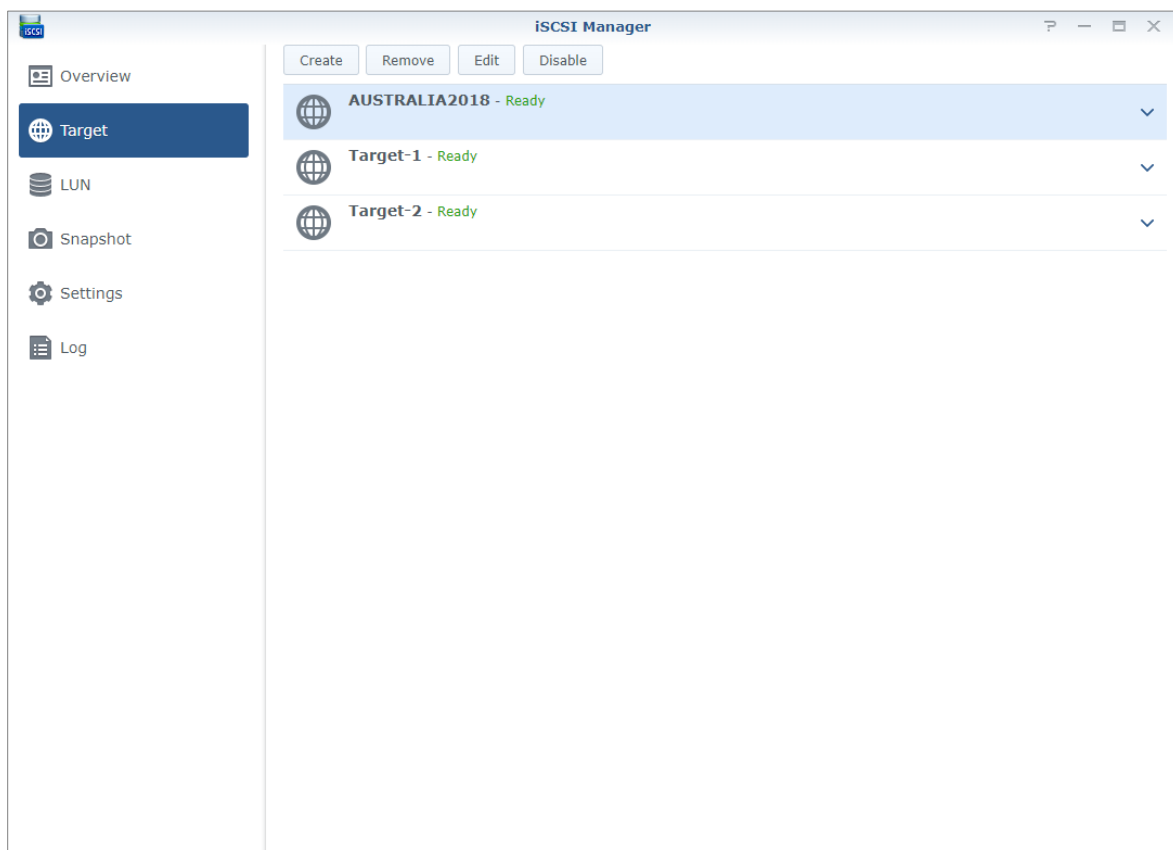
iSCSI サービスの管理

iSCSI (Internet Small Computer System Interface) とは、Storage Area Networking (SAN) サービスの一種であり、統合したブロックレベルのデータ ストレージにアクセスできます。iSCSI の主な用途は、イントラネットでデータを転送しやすくすることであり、離れた場所からストレージを管理することができます。

本章は iSCSI サービスを iSCSI Manager で管理する方法の基本的情報を提供します。詳細な指示は、[DSM ヘルプ](#)を参照してください。

iSCSI Target の管理

[\[iSCSI Manager\]](#) > [\[ターゲット\]](#) の順に進んで、iSCSI Target を作成、削除、保証、または無効化します。iSCSI Target の最大数は、モデルにより異なります。詳細な指示は、[DSM ヘルプ](#)を参照してください。



iSCSI LUN の管理

iSCSI LUN（論理ユニット番号）とは、iSCSI Target のアドレス可能な部分を意味します。iSCSI LUN は読取りや書き込みなどのストレージ操作を行うために、複数の iSCSI Target にマッピングできます。

[iSCSI Manager] に行き、[LUN] タブをクリックして、iSCSI LUN を Synology NAS 上で管理します。iSCSI LUN の最大数は、モデルにより異なります。詳細な指示と制限は、[DSM ヘルプ](#)を参照してください。

LUN タイプ

LUN を作成する前に、Storage Manager でボリュームを先に作成する必要があります。Synology NAS は現在次のタイプの LUN を提供しています。

- インスタントスナップショットをサポートする新しい高度な LUN 機能を持つ LUN。
- レガシーの高度な LUN 機能を持つ LUN など、Thin Provisioning を持つ LUN。
- Thin Provisioning のない LUN が、ほとんどの事例でより良いパフォーマンスを持ちます。

重要: インスタントスナップショットをサポートする新しい高度な LUN 機能を持つ LUN のみ。このタイプの LUN は Btrfs ボリューム上で作成される必要があり、DSM 6.2 以降で利用可能です。

iSCSI LUN のスナップショットの作成

iSCSI LUN スナップショットは、iSCSI LUN の、一瞬の読み出し専用のコピーです。貴重なストレージスペースを効率的に使用できるだけでなく、保護レベルも向上します。また重要なデータを簡単に復元できるという利点もあります。

[iSCSI Manager] に行き、[スナップショット] タブをクリックすると、iSCSI LUN スナップショットが撮影されます。詳細な指示は、[DSM ヘルプ](#)を参照してください。

iSNS サーバーで iSCSI Target を登録する

iSNS (Internet Storage Name Service) は、一元化された管理のメカニズムを提供します。[iSCSI Manager] > [設定] で、すべての iSCSI Target を iSNS サーバーで登録できます。

I/O キューの深さの設定

I/O のキューの深さが、iSCSI の各セッション中にキューに送信できる iSCSI コマンドの最大数を決定します。より長いキューの深さは、10/40 GbE ネットワークと SSD の環境におけるスループットを向上するのに役立ちます。キューの深さを 1 に設定すると、レイテンシや安定性の問題の解決に役立つことがあります。[iSCSI Manager] > [設定] の順に進んで、ニーズに応じて I/O キューの深さを設定します。

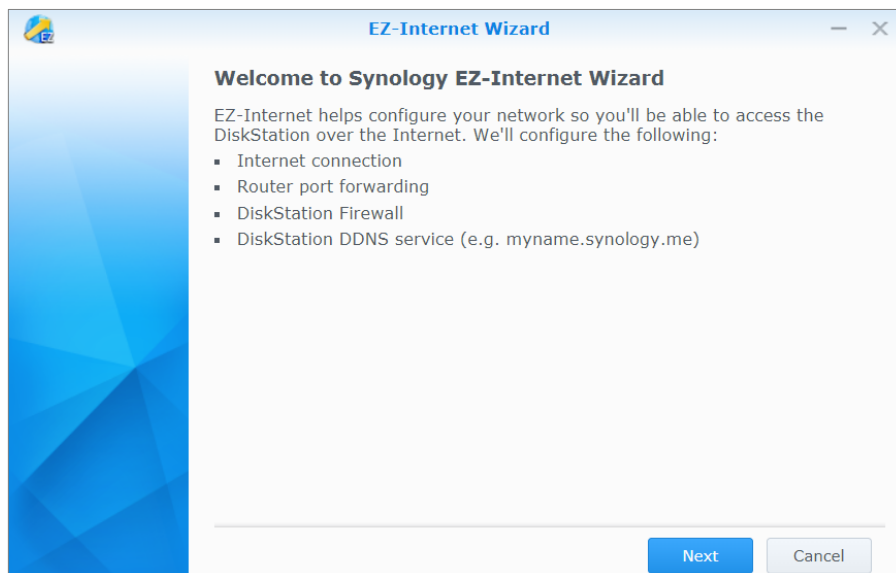
インターネットから Synology NAS へのアクセス

Synology NAS をインターネットに接続すると、いつでも場所を選ばずにそのサービスを利用できるようになります。

この章では、Synology EZ-Internet ウィザードの使い方、高度なポート転送機能、Synology NAS をインターネットに接続するための DDNS ホストネームの登録等について説明します。詳細な指示は、[DSM ヘルプ](#)を参照してください。

EZ-Internet ウィザードを使う

EZ-Internet ウィザードでは、インターネット経由でアクセスするための設定を行います。複雑なファイアウォールの設定、PPPoE の設定、DDNS 登録、ルーターポート転送設定などを行う必要はありません。



ルーターのポート転送規則の設定

Synology NAS がローカル ネットワーク上に存在する場合は、ルーターにポート転送規則を設定して Synology NAS をインターネット経由でアクセスできるようにできます。

注: 開始する前には、Synology NAS に固定 IP アドレスが手動で割り当てられているか確認してください。詳細情報は、「ネットワーク インターフェイス」を参照してください。

[コントロール パネル] > [外部アクセス] > [ルーター構成] の順に進み、ルーターとポート転送規則を設定します。詳細な指示は、**DSM ヘルプ**を参照してください。

注: ポート転送規則を設定して、固定 IP アドレスを割り当てるには、ルーターへの管理者権限が必要です。

ルーターの設定

DSM でポート転送規則を追加する前に、Synology NAS デバイスとルーターの接続を行う必要があります。作業を開始する前に、**[ルーターのセットアップ]** ボタンをクリックしてください。

ポート転送規則の追加

ポート転送規則を追加して、特定のルーターポートからパッケージを受信する Synology NAS のポートを指定します。**[作成]** をクリックしてポート転送規則を作成してください。

Synology NAS の DDNS を登録する

DDNS (Dynamic Domain Name Service) は、ホスト名をその IP アドレスにマップすることで、インターネットを使って簡単に Synology NAS に接続できるようにします。例えば、DDNS はドメイン名 (例: www.john.synology.me) を使って Synology NAS へのアクセスを許可します。IP アドレス (例: 172.16.254.1) を覚えておく必要はありません。

サービス要件

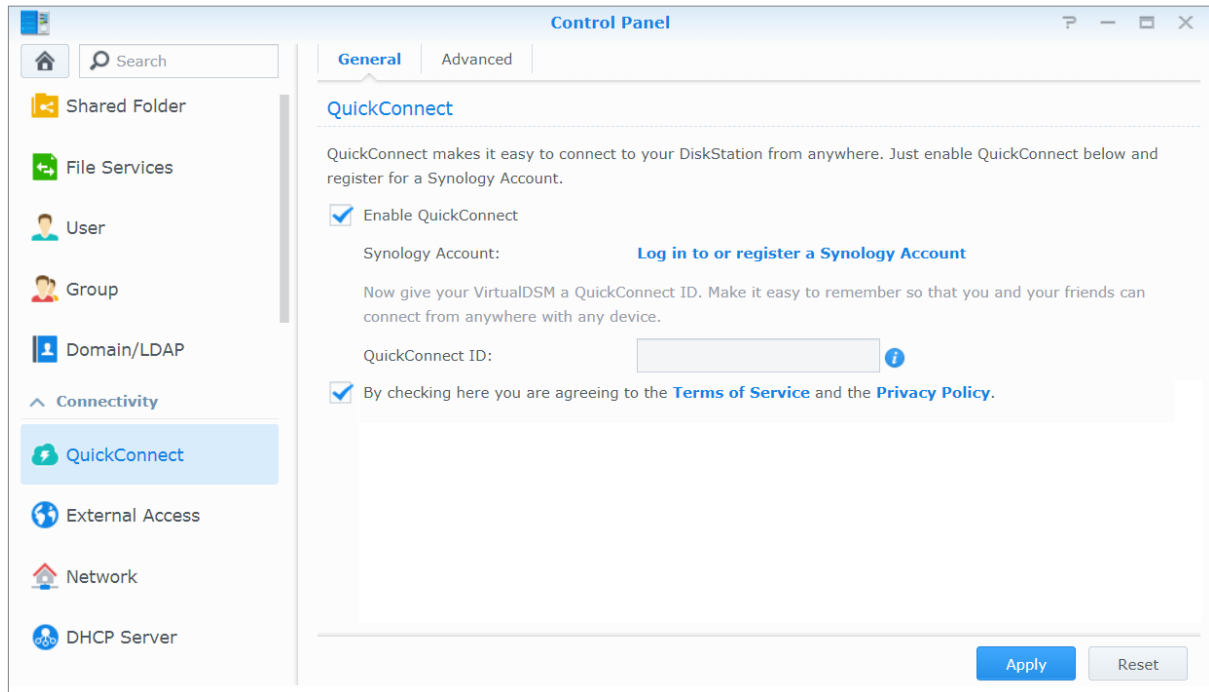
- DDNS サービス プロバイダのサーバーが正常に作動していること。
- Synology NAS がインターネットに接続可能であること。
- DDNS は、プロキシサーバーを必要としないネットワーク環境においてのみ使用できます。
- 1 つの DDNS プロバイダにつき、1 個のホスト名しか入力できません。

Synology NAS の DDNS ホスト名を登録

[コントロール パネル] > [外部アクセス] > [DDNS] の順に進みます。Synology NAS の IP アドレスの既存のホスト名を指定するか、Synology または他の DDNS プロバイダが提供する IP アドレスを登録することができます。ホスト名の登録については、それぞれのプロバイダにお尋ねください。

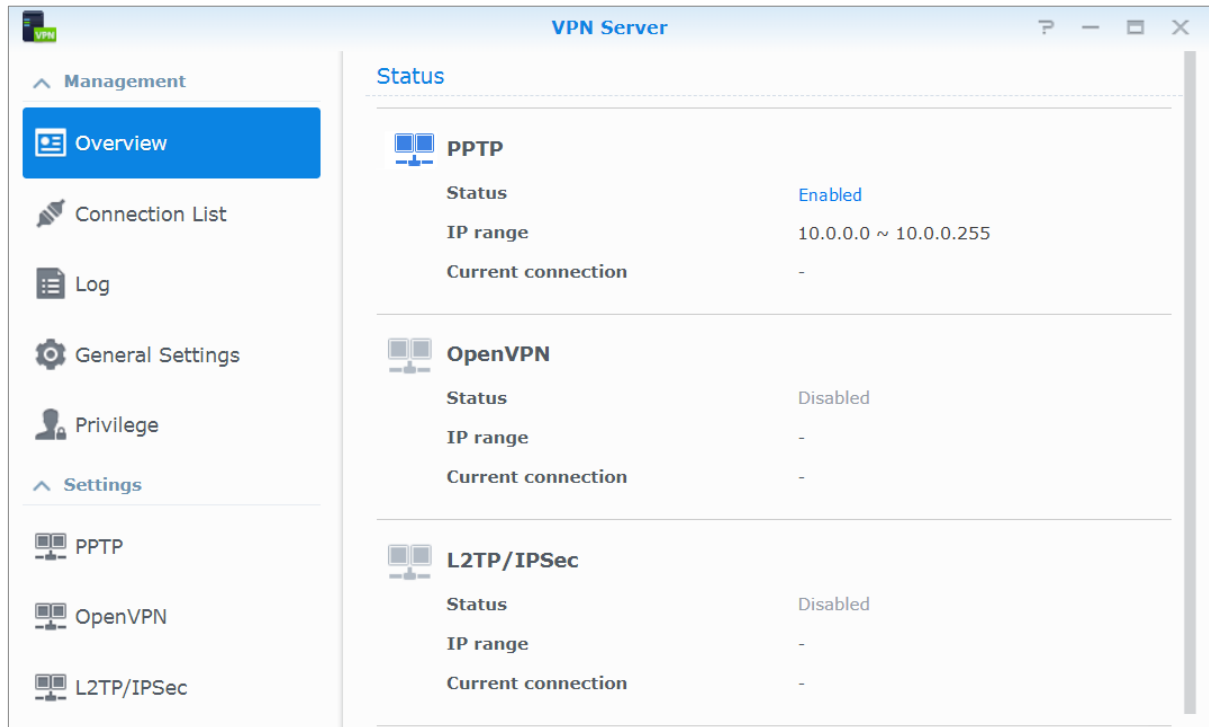
QuickConnect で DSM サービスにアクセスする

QuickConnect はポート転送規則を設定しなくても、クライアントアプリケーション（DS file、Cloud Station ユーティリティ、DS audio など）がインターネットを介して Synology NAS に接続できるようにするためのソリューションです。[\[コントロールパネル\]](#) > [\[QuickConnect\]](#) の順に選択し、QuickConnect サービスを管理します。QuickConnect についての詳細は、[DSM ヘルプ](#)を参照してください。



VPN 接続の設定

VPN Server は Synology NAS を PPTP、OpenVPN、L2TP/IPSec VPN (virtual private network) サーバーに変えて、DSM ローカル ユーザーがインターネットを介して Synology NAS の LAN で共有されるリソースにアクセスできるようにするアドオン パッケージです。



VPN Server として Synology NAS を設定する

VPN Server を Synology NAS にインストールするには、**[パッケージ センター]** を選択します。VPN Server についての詳細は、パッケージを起動して、右上隅にある **[DSM ヘルプ]** ボタン（クエスチョンマークが付いています）をクリックしてください。

Synology NAS を VPN Server に接続する

[コントロール パネル] > **[ネットワーク]** > **[ネットワークインターフェース]** の順に進み、Synology NAS を VPN クライアントとして設定して VPN サーバーに接続すると、仮想プライベート ネットワークにアクセスできるようになります。各 VPN サーバー用に接続プロファイルを作成するか、または編集すると、そのプロファイルを使ってワンクリックでサーバーに接続できるようになります。

注: Synology NAS を同時に VPN サーバーとクライアントとして設定することはできません。

インターネットセキュリティの強化

SynologyNAS でインターネットが利用できるようになったら、インターネット ハッカーからの攻撃を阻止するためのセーフガードが必要となります。

この章では、ファイアウォールの設定、DoS 防御を有効にする方法、自動ブロックを有効にする方法などについて説明します。詳細な指示は、[DSM ヘルプ](#)を参照してください。

ファイアウォールで不正アクセスを阻止

組み込み式ファイアウォールは、不正ログインを防ぎ、アクセス可能なサービスを制御します。さらに、特定の IP アドレスからのネットワークポートへのアクセスを許可/拒否を選択することができます。

[コントロールパネル] > [セキュリティ] > [ファイアウォール] > [規則を編集] を選択し、[作成] をクリックしてファイアウォール規則を作成します。

ファイアウォール規則をポートに適用する

[ポート] セクションでは、次のオプションを使ってすべてのポート、または選択したポートにファイアウォール規則を適用します。

- **すべて:** このオプションを選択すると、Synology NAS のすべてのポートに規則を適用します。
- **組み込みアプリケーションの一覧から選択:** 規則に含めるシステムサービスを選択します。
- **カスタマイズ:** ポートのタイプとプロトコルを指定して、カスタムポート番号を入力します。コンマ区切り、またはポート範囲を指定して最大 15 個のポートを入力できます。

ファイアウォール規則をソースの IP アドレスに適用する

[ソース IP] セクションでは、次のオプションを使ってソース IP アドレスからのアクセスを許可するか、拒否するかを選択します。

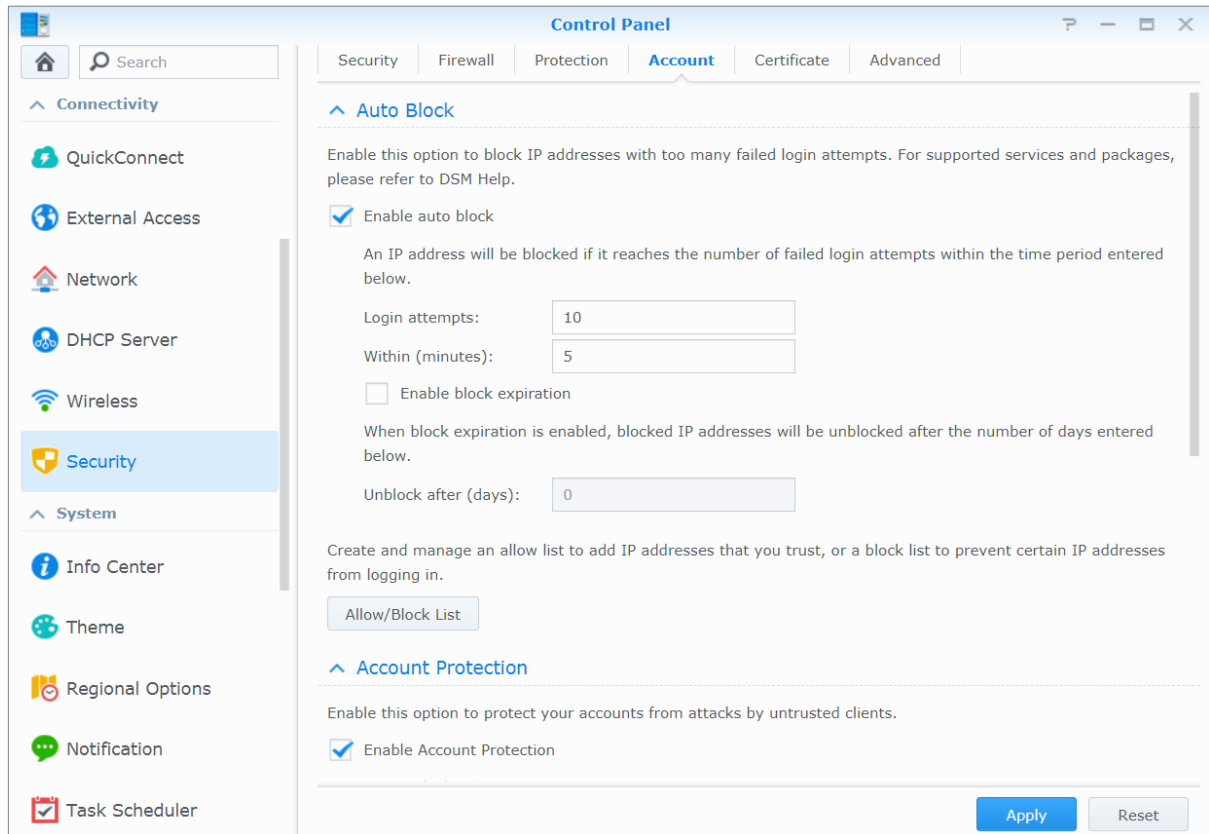
- **すべて:** このオプションを選択すると、すべての IP アドレスに規則を適用します。
- **特定 IP:** このオプションを選択すると、ひとつの IP アドレスに規則を適用します。
- **領域:** このオプションを選択すると、ひとつの地域に規則を適用します。

インターネット攻撃を阻止する

DoS（サービス拒否攻撃）保護は、インターネット上の悪意のある攻撃を防御します。[\[コントロールパネル\]](#) > [\[セキュリティ\]](#) > [\[保護\]](#) を選択して、DoS 防御を有効にしてネットワークのセキュリティを高めてください。

疑いのある不正ログインを自動ブロック

自動ブロックを使用すると、不正なログインを阻止できます。このサービスを有効にした後、ログインの失敗回数が多い IP アドレスがブロックされます。[\[コントロールパネル\]](#) > [\[セキュリティ\]](#) > [\[アカウント\]](#) の順に選択して、ブロックリストを作成、管理した後、リストを有効にします。



ファイル共有の設定

Synology NAS をローカル ネットワークまたはインターネットでファイル共有センターとして設定すると、ユーザーがいつでも、どこからでもアクセスできるようになります。詳細な指示は、[DSM ヘルプ](#)を参照してください。

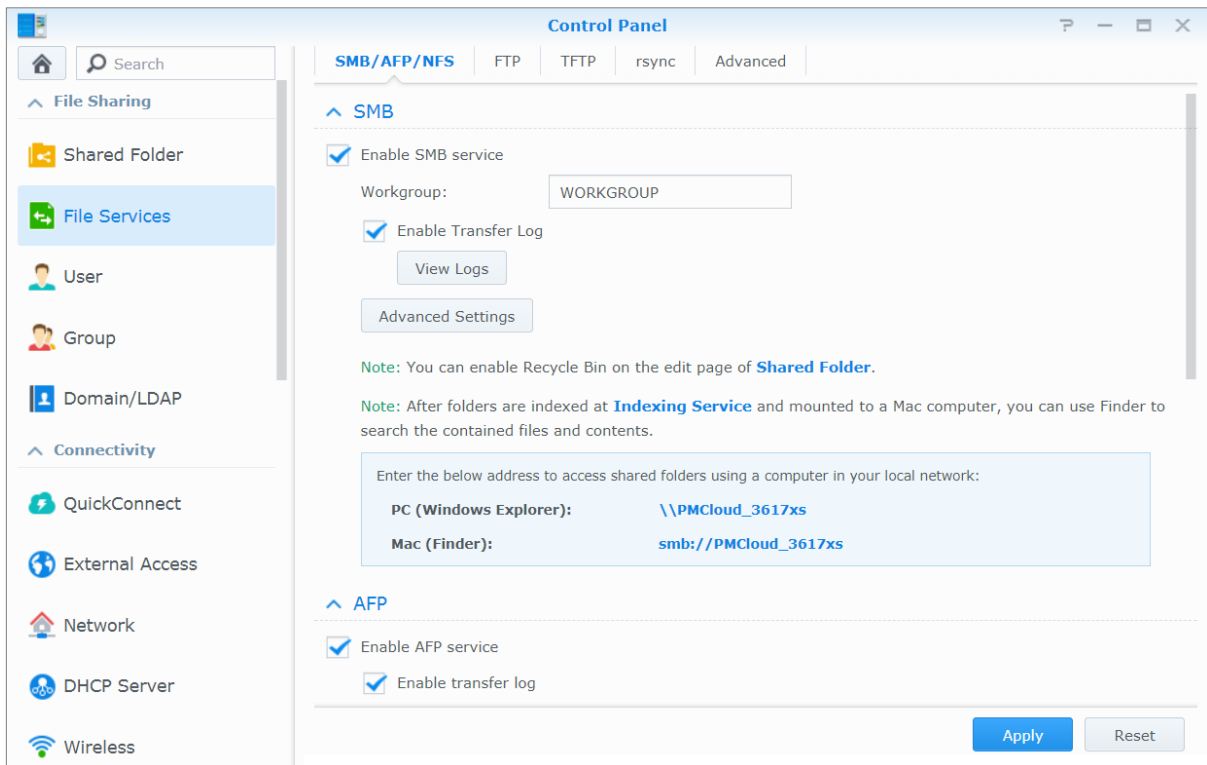
この章では、すべてのプラットフォームでファイル共有プロトコルを有効にする、ユーザーとグループを作成して管理する、共有フォルダを設定して特定のユーザー/グループに対する共有フォルダ、アプリケーションまたはサブフォルダにアクセスを許可/拒否する方法について説明します。

すべてのプラットフォームのファイル共有プロトコルを有効にする

ここでは、Synology NAS がすべてのプラットフォームに対してファイル共有プロトコルをサポートする方法について説明します。

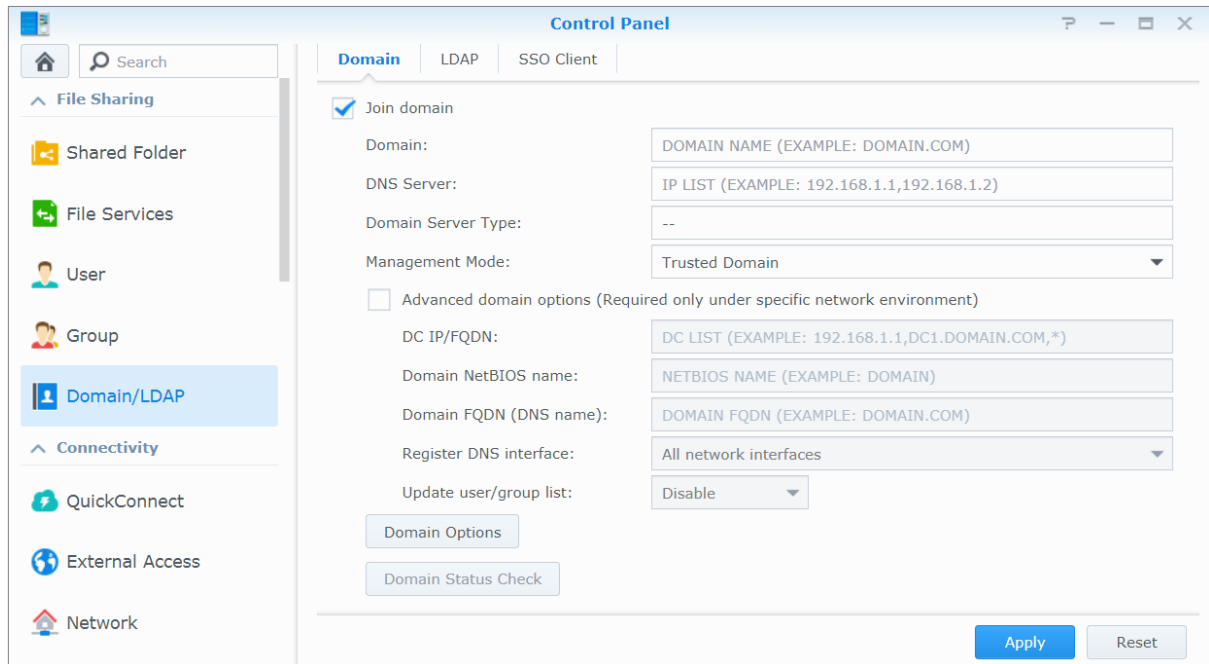
Synology NAS がサポートするファイル共有プロトコル:

- **Windows の場合:** SMB/CIFS (マイ ネットワーク プレース)、FTP
- **Mac の場合:** SMB、FTP、AFP
- **Linux の場合:** SMB、FTP、NFS



Synology NAS をドメイン/LDAP に接続する

[コントロールパネル] > [ドメイン/LDAP] の順に進んで、Windows ドメインまたは LDAP クライアントとして Synology NAS をディレクトリ サービスに繋がります。Synology NAS をディレクトリ サービスに追加すると、ドメイン/LDAP ユーザーの共有フォルダや DSM アプリケーションへのアクセス権を管理して、home サービスを有効にすることができます。



Windows ドメインに付加

[ドメイン] タブをクリックしてドメイン名と DNS サーバー（任意）を入力すると、Synology NAS を Windows ADS ドメインに付加することができます。表示されるウィンドウで、ドメインサーバー管理者用のユーザー名とパスワードを入力してください。

Synology NAS のドメイン参加が完了すると、ドメインユーザーは、ドメインアカウントとパスワードで Synology NAS にログインできます。

注:

- ドメインユーザー名に「%」や「\$」が含まれていると自分の home ホルダーにアクセスできない場合があります。その場合は、ドメイン管理者に新しいユーザー名を要請してください。
- [Domain Admins] と [Enterprise Admins] のドメイングループは、ローカルグループ administrators に自動的に追加されます。つまり、これらグループのドメインユーザーには、DSM/CIFS/FTP/AFP/WebDAV アプリケーションの実行を含む Synology NAS への管理者権限があります。
- また、Synology NAS の共有フォルダへアクセスする権限をドメインユーザーに設定することもできます。詳細情報は、「ドメインユーザー/グループに共有フォルダへのアクセスを許可する」を参照してください。

LDAP サーバーとのバインディング

LDAP は Synology NAS を LDAP クライアントとして既存のディレクトリサービスに追加し、LDAP サーバー（または「directory server」）からユーザー情報やグループ情報を取得できるようにします。プロファイルオプションには、標準（Synology Directory Server または Mac Open Directory）、IBM Lotus Domino サーバー、自分のプロファイル設定をカスタマイズするなどがあり、異なるタイプの LDAP サーバーに接続できます。DSM ローカルユーザーやグループで行う場合と同じように、LDAP ユーザーまたはグループの DSM アプリケーションや共有フォルダへのアクセス権を管理することができます。

Directory Server によるホスト LDAP サービス

Directory Server は LDAP バージョン 3 (RFC2251) を基にしたアドオンパッケージです。これは Synology NAS をアカウント管理センターにして、接続しているすべてのクライアントのアカウント管理を中央化し、それらに認証サービスを適用します。

また、**G スート シングル サインオン** を有効にすると、Directory Server が Google Apps ドメインの ID プロバイダーになります。これにより、Directory Server に保存された自分のアカウントとパスワードで Google Apps サービス（Gmail や Google Calendar）にログインすることが可能になり、別のアカウントとパスワードセットを覚える必要がありません。

The screenshot shows the 'Directory Server' configuration window. The left sidebar contains 'Settings', 'Backup and Restore', 'User', 'Group', and 'G Suite Single Sign-On'. The main content area is titled 'Server' and includes the following options and fields:

- Enable LDAP Server
- As the Provider server
 - FQDN: [input field]
 - Password: [input field]
 - Confirm password: [input field]
- As the Consumer server of Synology Directory Server
 - Provider address: [input field]
 - Encryption: [dropdown menu: SSL/TLS]
 - Base DN: [dropdown menu]
 - Username: [dropdown menu]
 - Password: [input field]
 - Connection Status: --
 - Connection Settings [button]

Below the 'Server' section is the 'Authentication Information' section with the following fields:

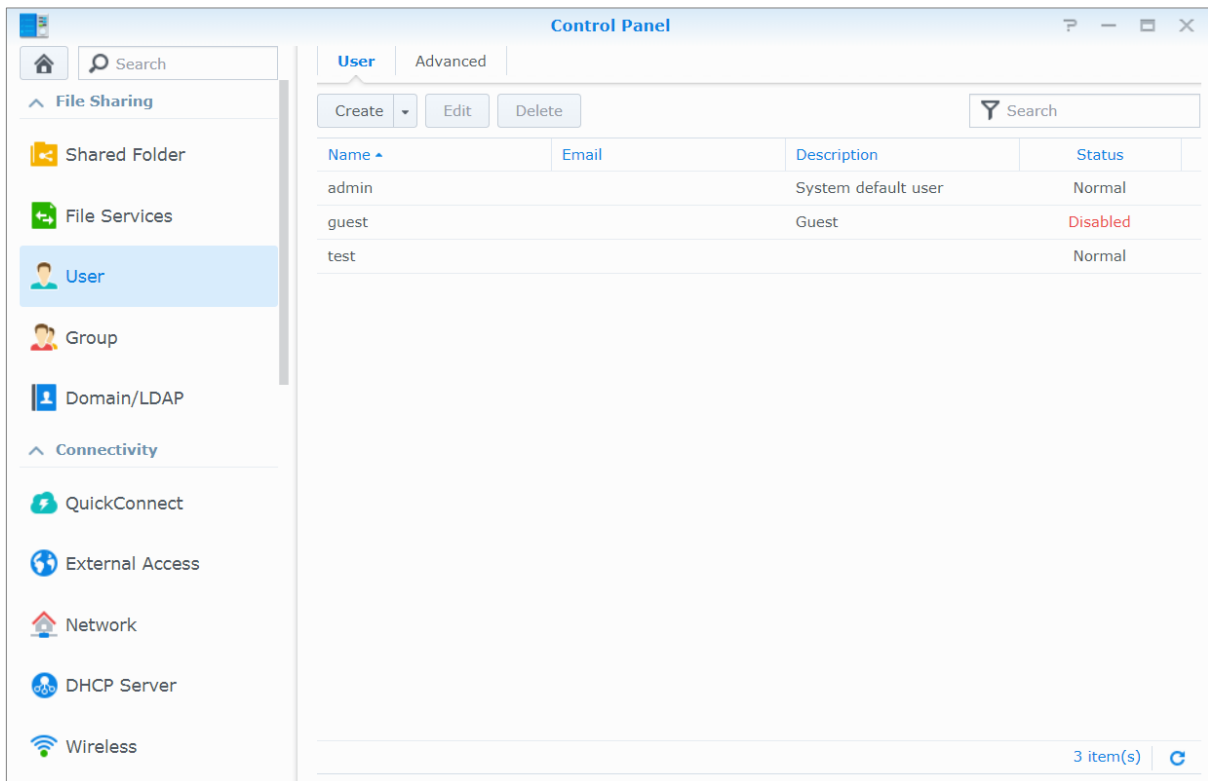
- Base DN: [input field]
- Bind DN: [input field]

At the bottom right of the window are 'Apply' and 'Reset' buttons.

Directory Server を Synology NAS にインストールするには、**[パッケージセンター]** を選択します。Directory Server についての詳細は、**DSM ヘルプ** を参照してください。LDAP クライアントで Directory Server にアクセスする方法については、この**チュートリアル**をご覧ください。

ユーザーとグループの管理

[コントロールパネル] > [ユーザー] または [グループ] の順に移動して、ユーザーまたはグループを作成し、異なる共有フォルダへのアクセスを許可/拒否します。



ユーザーの作成

[作成] をクリックしてユーザーアカウントを作成します。ユーザーは、ユーザーアカウントが作成された後でログインして、本人のアカウント情報を編集することができます。アカウントの有効期限を設定したり、ユーザーによるアカウントのパスワード変更を無効にしたりできます。

電子メール経由でユーザーがパスワードをリセットすることを許可

管理者以外のユーザーに忘れたパスワードを電子メールでリセットさせることができます。[詳細設定] > [パスワード設定] の順に進んで、[管理者以外のユーザーに忘れたパスワードを電子メールでリセットさせる] とマークされたチェックボックスにチェックを入れます。このオプションを有効にすると、DSM ログインページに [パスワードを忘れた場合] というリンクが表示されます。パスワードを忘れた場合は、このリンクをクリックしてユーザー名を入力してください。システムからそのユーザーに対して、忘れたパスワードをリセットするためのリンクが記載された電子メールメッセージが送信されます。

詳しい手順と注意については、[DSM ヘルプ](#) を参照してください。

パスワード強度ルールを適用する

DSM ユーザーのパスワードが不正ログイン行為に確実に耐えられるように、パスワードの強度サービスを有効にすることができます。[パスワード設定] をクリックして、パスワードの有効性の測定を構成します。

注:

- パスワード強度ルールは、パスワード強度サービスが有効にした後に作成または変更したパスワードの対してのみ機能します。既存のパスワードはルールによる影響を受けません。
- ルールは、ユーザーリストをインポートして作成したユーザーのパスワードには適用されません。

ユーザーの home フォルダを作成

各 DSM ユーザー (ゲストを除く) は、**home** と呼ばれる個人用のフォルダを持つことができます。これには、そのユーザーおよびシステム管理者だけがアクセスすることができます。[\[ユーザー home\]](#) をクリックして、ユーザー home サービスを有効にします。

administrators グループに属しているユーザーの場合、DSM ユーザーの home フォルダは次の場所にあります。**homes/[ユーザー名]**

注:

- ユーザー home サービスを無効にすると、**homes** フォルダは削除されませんが、**administrators** グループに属するユーザーしかアクセスできなくなります。ユーザーは、ユーザー home サービスを再度有効にすると自分の home フォルダにアクセス可能になります。
- **homes** フォルダを削除する場合は、ユーザー home サービスを無効にしてから行ってください。

ドメイン/LDAP ユーザーの home フォルダを作成

Synology NAS のディレクトリ サービスに Windows ドメインまたは LDAP クライアントとして加わった場合、[\[コントロールパネル\]](#) > [\[ドメイン/LDAP\]](#) > [\[ドメイン ユーザー\]](#) または [\[LDAP ユーザー\]](#) の順に進んで、ドメイン/LDAP ユーザーの home フォルダを作成できます。[\[ユーザー ホーム\]](#) をクリックして [\[ドメインユーザーに対するホーム サービスを有効化\]](#) または [\[LDAP ユーザーにホーム サービスを有効化\]](#) にチェックを入れます。

ローカルユーザーと同様、ドメイン/LDAP ユーザーはすべて、CIFS、AFP、FTP、WebDAV、または File Station 経由で自分のフォルダにアクセスできます。**administrators** グループに属するユーザーは **homes** デフォルト共有フォルダにあるすべての個人用フォルダにアクセスできます。**administrators** グループに属するユーザーの場合、ドメイン/LDAP ユーザーのフォルダは **@DH-domain name** (ドメイン ユーザー用) または **@LH-FQDN name** (LDAP ユーザー用) という名前のフォルダにあります。ユーザーのホームフォルダの名前には、ユーザーアカウントの後ろに個別の番号が付けられます。

注:

- **homes** 共有フォルダを削除する場合は、ユーザー ホーム サービスを無効にしてから行ってください。
- ドメイン/LDAP ユーザーのホームサービスを有効にすると、ローカルユーザーのホームサービスも有効にします (有効になっていない場合)。
- ローカルユーザーのホームサービスを無効にするとドメインユーザーのホームサービスも無効になります。

グループ作成

[\[コントロールパネル\]](#) > [\[グループ\]](#) の順に移動して、グループを作成・編集、グループにユーザーを追加、グループの権限を編集して、ひとつずつユーザーを編集する時間を節約します。

デフォルトで作成されるグループ:

- **管理者:** **administrators** グループに属しているユーザーには、**admin** と同じ管理権限があります。
- **ユーザー:** すべてのユーザーが **users** グループに属しています。

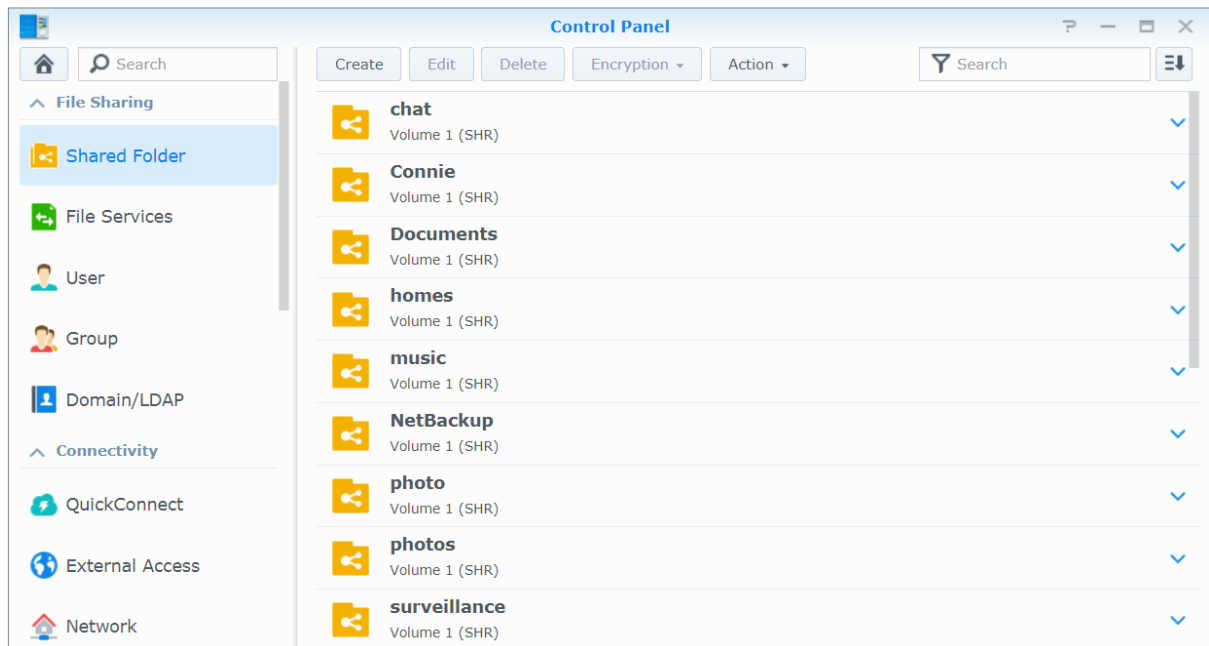
注: 共有フォルダやアプリケーションへのグループのアクセス権限を編集する方法の詳細情報については、「ユーザー/グループに共有フォルダへのアクセスを許可する」と「ユーザーにアプリケーションへのアクセスを許可する」を参照してください。

ユーザーにアプリケーションへのアクセスを許可する

[\[コントロールパネル\]](#) > [\[グループ\]](#) > [\[編集\]](#) > [\[アプリケーション\]](#) を選択し、ユーザーがアクセスできるアプリケーションを決定します。

共有フォルダの設定

[コントロールパネル] > [共有フォルダ] の順に進み、Synology NAS のルートフォルダである共有フォルダを管理します。共有フォルダにデータを保存したり、ユーザーまたはグループでアクセス権限を共有したりできます。



システム作成の組み込み式共有フォルダ

システム生成の共有フォルダは、フォルダに必要なサービスまたはアプリケーションが有効になると作成されます。

名前	説明
Chat	Chat フォルダは、アップロード済みファイル、URL のサムネイル、およびプロフィールの写真などアプリケーションの添付ファイルを含んでいます。これは、Chat がインストールされた時に自動で作成されます。
web	web フォルダにはあなたの Web サイトのコンテンツが保存されます。これは、Web Station を有効にすると、自動生成されます。
画像	photo フォルダには、Photo Station で共有する写真やビデオが格納されます。これは、Photo Station または DLNA/UPnP メディア サーバーを有効にすると自動生成されます。
音楽	music フォルダには、Audio Station で共有する音楽が保存されます。これは、Audio Station を有効にすると自動生成されます。
動画	video フォルダには、DLNA/UPnP DMA 経由で表示するビデオが格納されます。これは、メディア サーバーを有効にすると自動生成されます。
監視	surveillance フォルダには Surveillance Station の記録が保存されます。このフォルダは、Surveillance Station が有効な場合は自動的に作成されます。
home	home フォルダは、各ユーザーが自分しかアクセスできないデータを格納する個人用のスペースを提供します。このフォルダは、ユーザー ホームを有効にすると自動生成されます。
homes	homes フォルダには、すべてのユーザーのホームフォルダが格納されます。このフォルダは、ユーザー ホームを有効にすると自動生成されます。システム管理者だけがアクセスでき、すべてのユーザーの home フォルダを管理します。
NetBackup	NetBackup フォルダは、ネットワークバックアップサービスを有効にすると自動生成されます。
usbshare	usbshare[番号] フォルダは、USB ドライブを Synology NAS デバイスの USB ポートに接続すると自動生成されます。
esatashare	esatashare フォルダは、eSATA ドライブを Synology NAS デバイスの eSATA ポートに接続すると自動生成されます。

共有フォルダの作成

administrators グループに属するユーザーの場合、**[作成]** をクリックして共有フォルダを作成し、アクセス権限をそのフォルダに割り当てることができます。

共有フォルダの削除

administrators グループに属するユーザーは、**[削除]** をクリックするとユーザー自身で作成した共有フォルダを削除することができます。

重要: 共有フォルダを削除すると、フォルダ内のデータもすべて削除されます。データが必要な場合は、バックアップしてから実行してください。

共有フォルダの暗号化

共有フォルダを有効にすると、暗号化するかどうかを選択できます。¹フォルダの暗号化後、**[暗号化]**ドロップダウンメニューを使用してフォルダをマウント/アンマウントできます、あるいは暗号化キーをエクスポートできます。

AES 256 ビット暗号化は、すべての不正アクセスをブロックできます。暗号化キーがないと、Synology NAS からハードドライブを取り外して他のデバイスに取り付けた場合に他のユーザーが暗号化データにアクセスできません。

デフォルトでは、安全のために暗号化共有フォルダはスタートアップ時にマウントされないように設定されています。Synology NAS にある **[リセット]** ボタンを押してデフォルトのパスワードをリセットすると、暗号化された共有フォルダがアンマウントされ、自動マウントするオプションが選択できなくなります。

注:

- 複数の共有フォルダの暗号化キーを管理するには、キー ストアを初期化することが推奨されます。これを行うには、**[コントロール パネル]** > **[共有フォルダ]** > **[アクション]** > **[Key Manager]** の順に進みます。
- 暗号化キーが Key Manager に追加されると、暗号化されたフォルダが起動時に自動でマウントされます。Key Manager で **[起動時にマウント]** のチェックボックスにチェックを入れます。
- Synology NAS のセキュリティのため、キー ストアとして物理的な USB ドライブを選択することをお勧めします。

¹ 共有フォルダの暗号化は特定のモデルにのみ対応しています。

ユーザー/グループに共有フォルダへのアクセスを許可する

[コントロールパネル] > [共有フォルダ] で、共有フォルダを選択し、[編集] > [許可] をクリックしてユーザーまたはグループによる共有フォルダへのアクセスを許可または拒否します。

Linux クライアントの共有フォルダへのアクセスを許可する

[コントロールパネル] > [共有フォルダ] で、共有フォルダを選択し、[編集] > [NFS 権限] をクリックして、NFS 権限を共有フォルダに割り当てて、Linux クライアントがそれにアクセスすることを許可します。

ドメインユーザー/グループに共有フォルダへのアクセスを許可する

Synology NAS を Windows ドメインまたは LDAP クライアントとしてディレクトリ サービスに繋いだ場合は、[コントロールパネル] > [共有フォルダ] の順に進んで、共有フォルダを選択し、[編集] > [権限] をクリックしてドメイン/LDAP ユーザーまたはグループの共有フォルダ権限をセットアップして修正します。

注: 権限に競合が生じた場合は、権限の優先度は次のようになります。アクセスなし (NA) > 読みみ/書き込み (RW) > 読みみ専用 (RO)。

共有フォルダに対する Windows ACL 権限の定義

Windows Access Control リスト (ACL) は、Windows 環境における特定のアクセス権を決定する権限または許可を一覧にしたものです。管理者はこの一覧を使って、個別のファイルやディレクトリのアクセスコントロールルールを定義し、個別のユーザーまたはグループに異なるアクセス権を与えます。

DSM では、デフォルトにより共有フォルダのアクセス権は Windows ACL に従います。共有フォルダには、各ファイルやサブフォルダの権限もカスタマイズできる Windows ACL の権限設定が組み込まれます。さらに、権限は File Station または Windows エクスプローラーでもカスタマイズできます。

Windows ACL を使うと、異なる権限をシステムのローカルおよびドメインユーザーに割り当てることができます。特権は、FTP、File Station、NFS、AFP、WebDAV などのファイルに関連するアプリケーションに適用します。

共有フォルダコンテンツのインデックス付け

Universal Search パッケージでフォルダにインデックスを付けることにより、ファイル名、ファイルコンテンツ、およびメタデータ別に深い検索を実行できます。詳細な指示は、**DSM ヘルプ**を参照してください。

注: File Station でファイルを検索する方法については、「ファイルやフォルダの検索」を参照してください。

場所を選ばずファイルにアクセス

ユーザーまたはグループの共有フォルダへの適切なアクセス権限を設定しておくことで、Synology NAS でどこからでもファイルを共有することができます。

この章では、イントラネットまたはローカル ネットワークを経由して Synology NAS の共有フォルダにアクセスする方法について説明します。詳細な指示は、[DSM ヘルプ](#)を参照してください。

ローカル ネットワーク内からファイル アクセス

ここでは、ユーザーが Windows、Mac、Linux コンピュータを使ってローカル ネットワーク上の Synology NAS の共有フォルダにアクセスする方法について説明します。

注: アクセスする前に、関連するファイル共有プロトコルが Synology NAS で有効になっていることを確認してください。詳細情報は、「すべてのプラットフォームのファイル共有プロトコルを有効にする」を参照してください。

Windows で共有フォルダにアクセス

Windows で共有フォルダにアクセスするには、以下の方法で行います。

方法 1: Synology Assistant を使って共有フォルダをネットワークドライブとしてマップする。

Synology Assistant (Synology [ダウンロードセンター](#) からダウンロードできます) を起動して、サーバー リストからサーバーを選択します。[\[マウント\]](#) をクリックして、画面の指示に従って設定を行います。

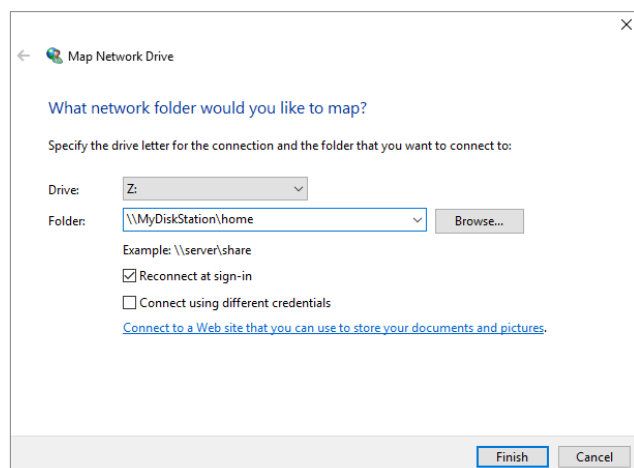
終了すると、ユーザーは Windows エクスプローラからマッピングされた共有フォルダに直接アクセスすることができます。

方法 2: Windows Explorer を使う。

Windows Explorer のウィンドウを開き、[\[この PC\]](#) を選択します。[\[ネットワーク ドライブにマップ\]](#) をクリックして、[\[ネットワーク ドライブにマップ\]](#) ウィンドウを表示します。[\[ドライブ\]](#) のドロップダウン メニューからドライブ名を選択します。以下のいずれかを行って共有フォルダを指定します。

- `\\Synology_Server_Name\Shared_Folder_Name` を [フォルダ](#) フィールドに入力します。
- [\[参照\]](#) をクリックして共有フォルダを指定してから [\[OK\]](#) をクリックします。

Synology DiskStation Manager 用のユーザー名とパスワードを入力してから [\[OK\]](#) をクリックします。終了すると、ユーザーは Windows エクスプローラからマッピングされた共有フォルダに直接アクセスすることができます。

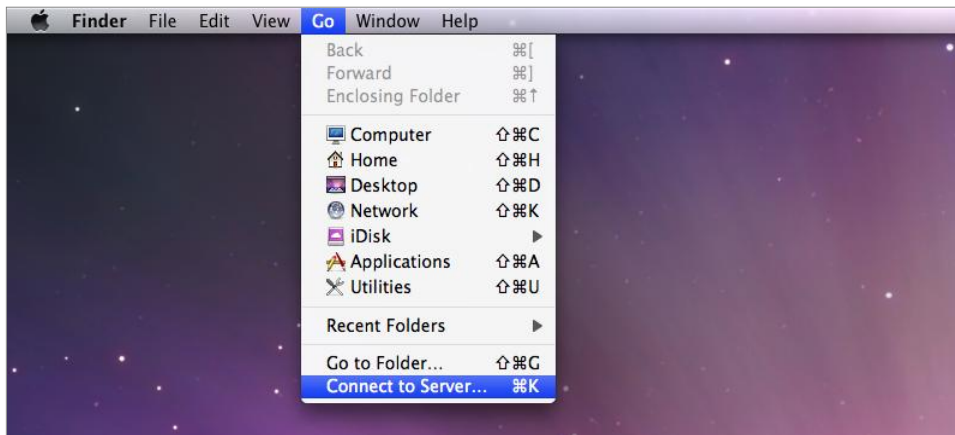


Mac で共有フォルダにアクセス

メニューバーから **[実行]** > **[サーバーに接続]** の順に選択します。theSynology NAS の IP アドレスまたはサーバー名 (local に付属) を **smb://**または **afp://**の後に、**[サーバー アドレス]** 欄で付けて、**[接続]** をクリックします。(例、**smb://EricaWang.local** または **afp://192.168.0.2**)

注: より性能を高めるには、SMB 経由で共有フォルダに接続してください。

アクセスする共有フォルダを選択します。この後は、ユーザーは Finder ウィンドウで共有フォルダに直接アクセスすることができます。



Linux で共有フォルダにアクセス

Synology DiskStation Manager で、**[メインメニュー]** > **[コントロール パネル]** > **[共有フォルダ]** の順に進みます。アクセスする共有フォルダを選択し、**[編集]** > **[NFS 権限]** をクリックすると、現れてくるウィンドウの下部にマウントパスの検索結果が表示されます。

Linux コンピュータで、マウントパスを入力して共有フォルダにマウントします。

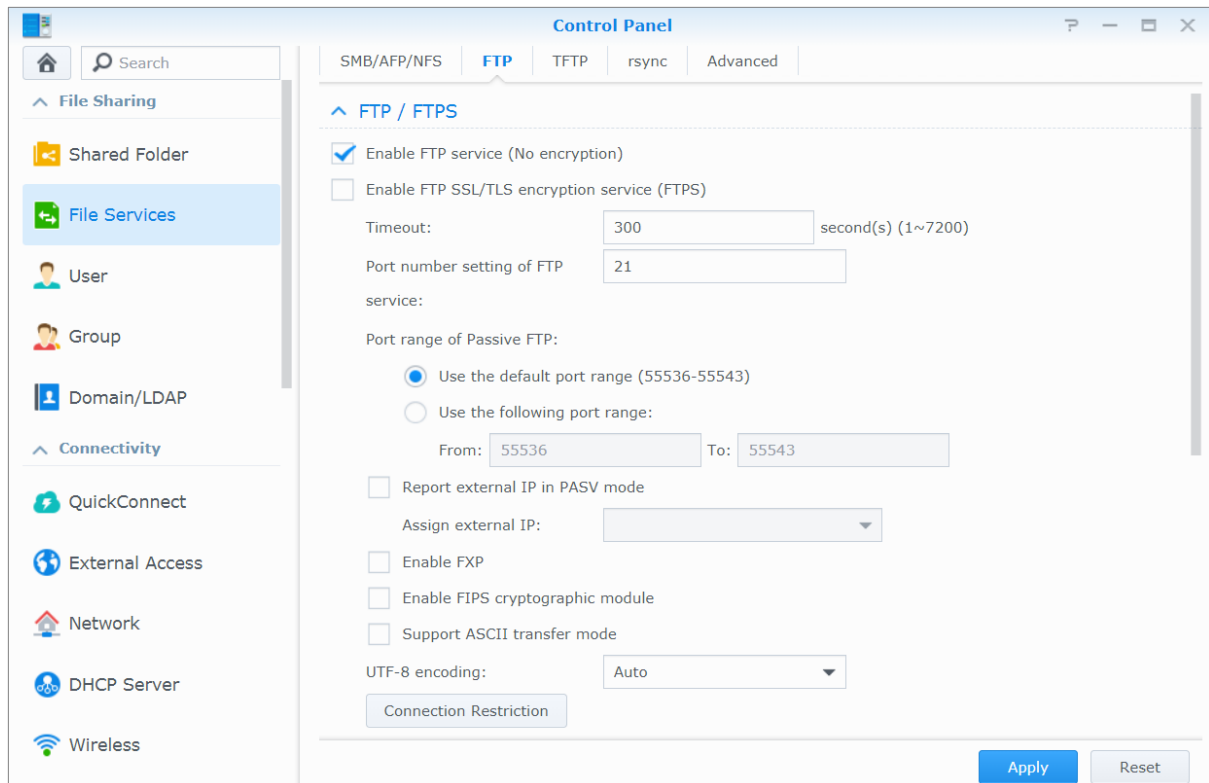
注: NFS 権限に関する詳細は、「ユーザー/グループに共有フォルダへのアクセスを許可する」を参照してください。

FTP 経由でファイルにアクセス

Synology NAS がインターネット経由でアクセス可能な場合は、FTP アプリケーションを使って共有フォルダにアクセスすることができます。

注: Synology NAS をインターネット経由でアクセス可能にする方法については、「第 7 章: インターネットから Synology NAS へのアクセス」を参照してください。

[コントロールパネル] > [ファイルサービス] > [FTP] の順に選択し、ユーザーが FTP 経由で Synology NAS のデータをアップロード/ダウンロードできるようにします。



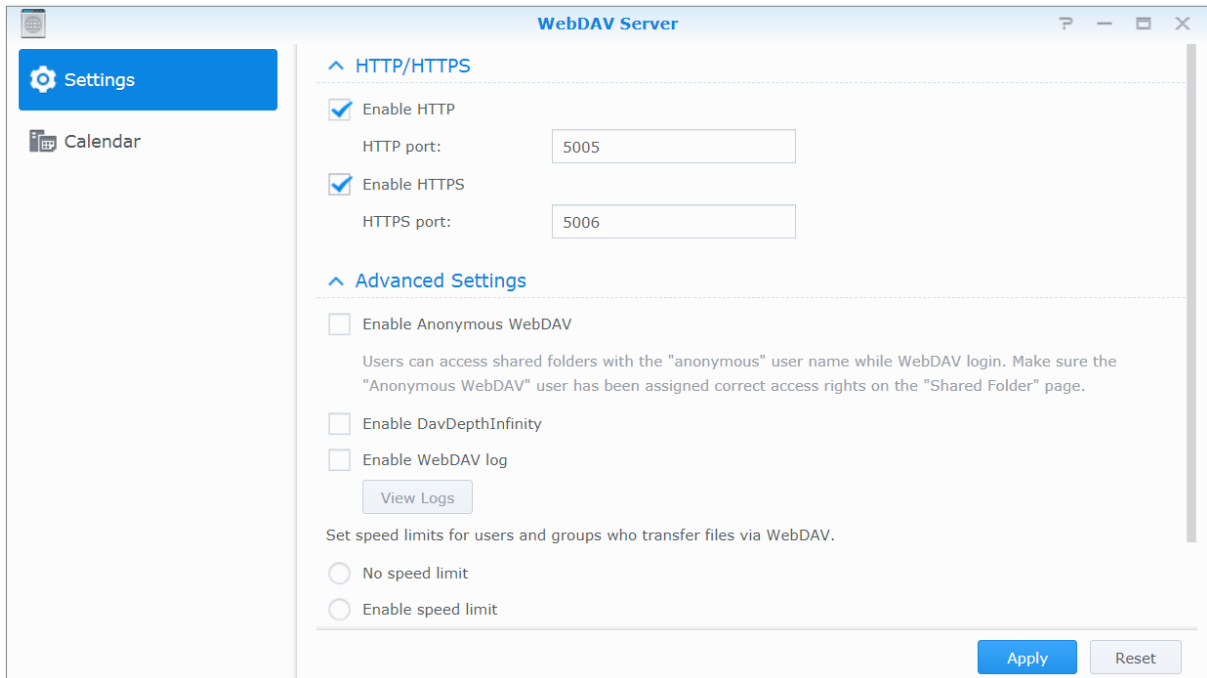
FTP アプリケーションを使って Synology NAS に接続

コンピュータで FTP アプリケーションを開き、以下の情報を入力して Synology NAS に接続します。

- Synology NAS の IP アドレスまたはドメイン名
- ユーザーアカウントとパスワード
- ポート番号（デフォルトは 21）

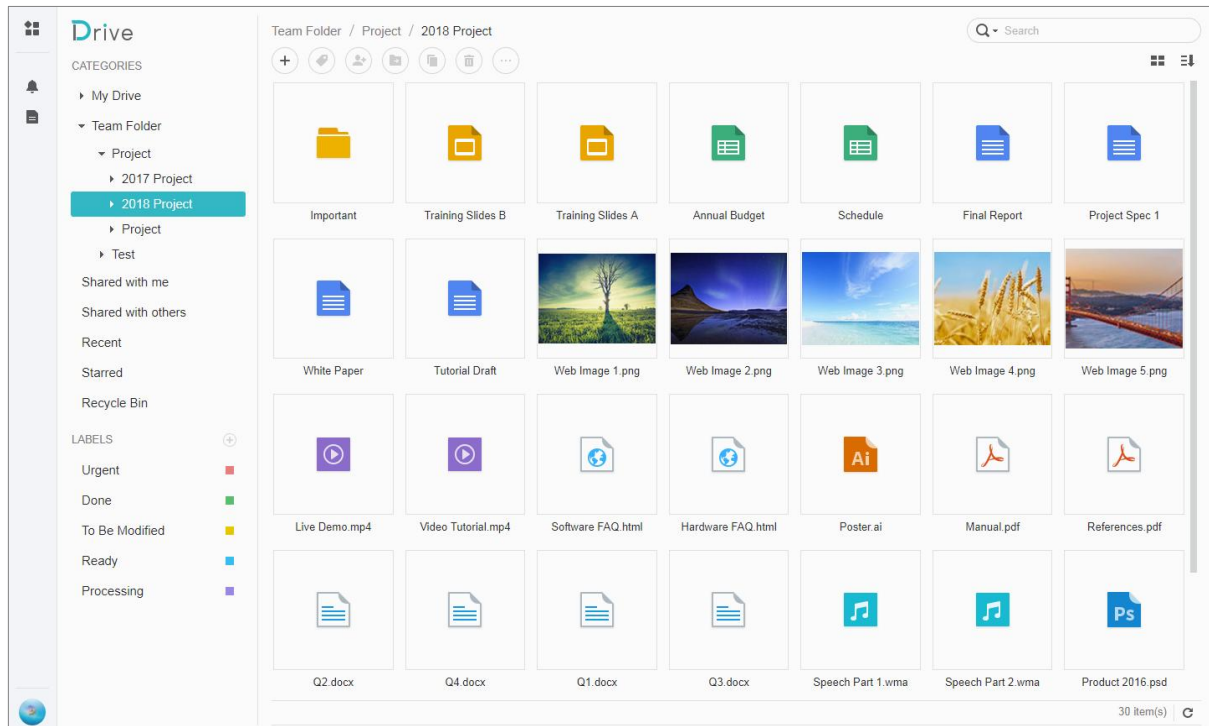
WebDAV 経由でファイルにアクセス

WebDAV または CalDAV を有効にすると、Synology NAS に保存されているファイルやカレンダーをリモートで管理および編集できます。[\[パッケージセンター\]](#)に行き、**WebDAV** パッケージをインストールしてサービスを有効にします。



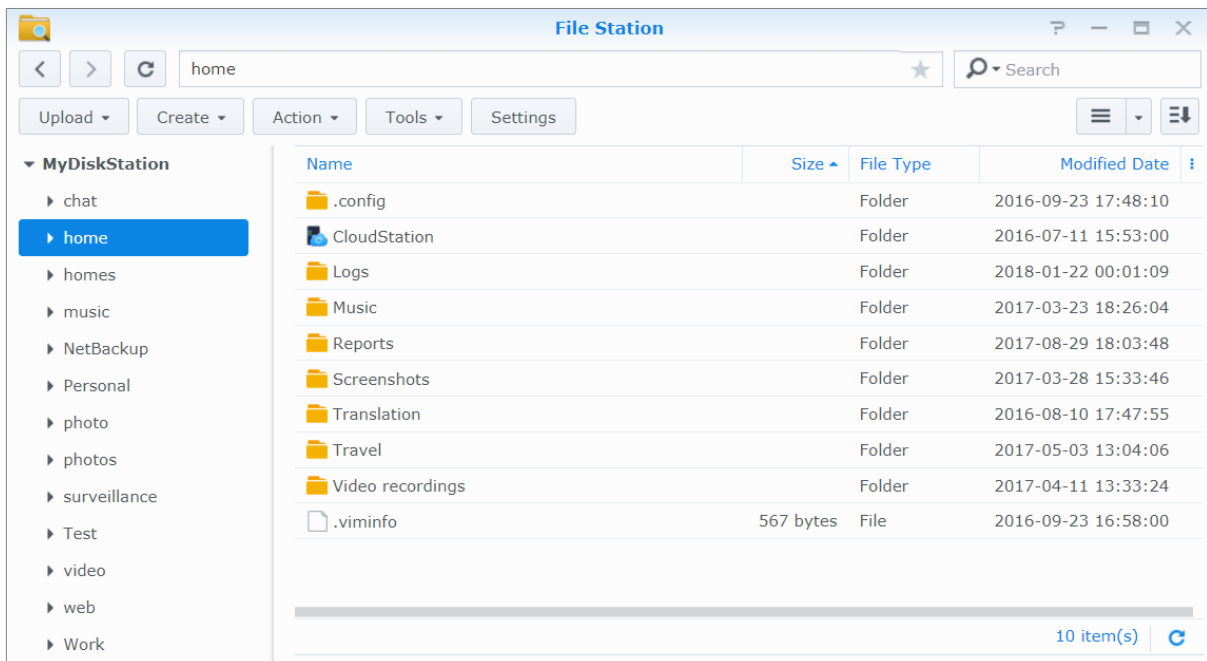
Synology Drive 経由でファイルにアクセスして同期

Synology Drive は、Synology NAS に保管されたすべてのファイルに統一されたポータルを提供します。これらのファイルには、コンピュータ、モバイル デバイス、またはその他の Synology NAS 上のネイティブ クライアント アプリケーション経由でアクセスと同期ができます。[パッケージセンター] を選択し、**Synology Drive** パッケージをインストールして実行します。



File Station 経由のファイルアクセス

File Station は DSM のファイル管理ツールです。DSM ユーザーの方はインターネットを介してウェブブラウザで Synology NAS フォルダにアクセスしたり、ファイルを別の WebDAV/FTP サーバーに転送したりすることができます。¹ 2 つ以上の File Station を開き、すべての Synology NAS データを File Station 間でドラッグアンドドロップして管理します。



File Station の外観

- **左側パネル:** 共有フォルダとそのサブフォルダを上部分に表示し、下部分にローカルコンピュータのフォルダを表示します。
- **メインセクション:** 現在選択されているフォルダのコンテンツを表示します。
- **ヘルプボタン (右上隅):** **[ヘルプ]** ボタン (クエスチョンマーク付き) をクリックして、DSM ヘルプを開きます。ここには、File Station の使い方について役立つ情報が豊富に提供されています。
- **検索欄:** 現在のフォルダからファイルやフォルダを絞り込むためのキーワードを入力します。
- **詳細検索 ([拡大鏡] ボタン):** 検索結果を絞り込むために検索します。

File Station オプションの管理

[設定] をクリックして全般設定を行ったり、File Station ログを有効にしたり、リモートフォルダや仮想ドライブをマウントしたり、ファイルリンクを共有できるユーザーを定義したり、DSM ファイル転送機能で使用する帯域を制御するために制限速度を設定したりすることができます。

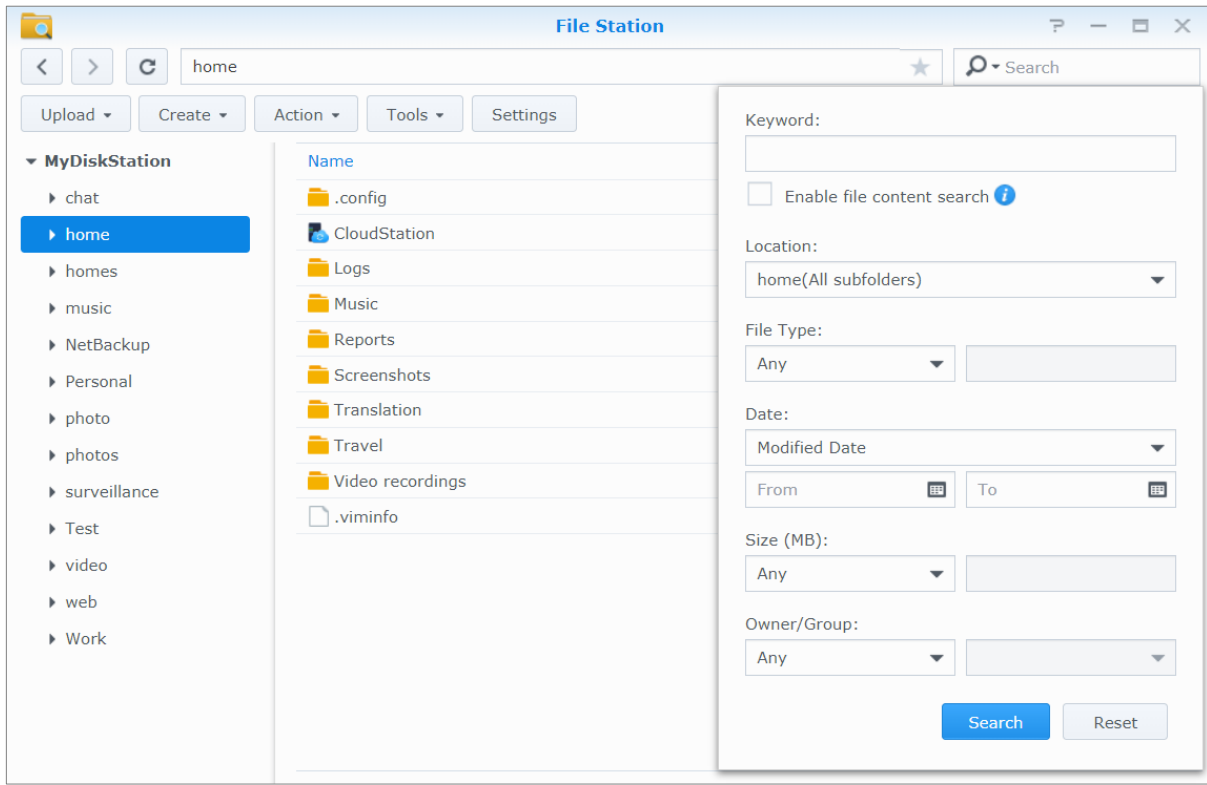
注:

- リモートフォルダまたは仮想ドライブについての詳細は、「リモートフォルダまたは仮想ドライブのマウント」を参照してください。
- 共有リンクの詳細については「ファイル共有リンク」を参照してください。

¹ HTTPS で FTP、SFTP、WebDAV、WebDAV がサポートされています。

ファイルやフォルダの検索

File Station の右上隅にある **[検索]** 欄にキーワードを入力して、現在のフォルダからファイルやフォルダを絞り込むことができます。また、**[詳細検索]** パネルを使って検索結果を絞り込むこともできます。



注: 簡単に検索結果を得るには、共有フォルダのコンテンツにインデックスを付けておくことをお勧めします。詳細情報は、「共有フォルダコンテンツのインデックス付け」を参照してください。

File Station の動作設定

[操作] メニューを使うと、右クリックやドラッグアンドドロップ操作で簡単にファイルやフォルダをダウンロード、アップロード、コピー、移動、名前変更、削除、解凍、圧縮することができます。

ファイル/サブフォルダのプロパティの編集

[プロパティ] ウィンドウでは、ファイルおよびサブフォルダ（共有フォルダのフォルダとサブフォルダ）のアクセス権限の編集、ダウンロードリンクのコピー、開いたファイルを新しいブラウザウィンドウで開くなどの設定を行います。アクセス権限を設定したいファイルおよびフォルダを選択してください。ファイルまたはフォルダを右クリックするか、**[操作]** メニューを選択した後、**[プロパティ]** を選択します。

注:

- 共有フォルダに対するアクセス権限を設定するには、「ユーザー/グループに共有フォルダへのアクセスを許可する」を参照してください。
- ここではユーザーは **photo** 共有フォルダのファイルおよびサブフォルダへのアクセス権限を編集できません。Photo Station ユーザーにフォトアルバムへのアクセス権を設定するには、Photo Station を起動して **[設定]** ページを開きます。そして、**[ヘルプ]** タブをクリックすると、詳細情報を見ることができます。
- File Station では、コンピュータでファイルおよびフォルダをアップロードすることだけが可能です。その他の File Station の操作およびプロパティ設定は、Synology NAS のファイルおよびフォルダに対してのみ行うことができます。

ファイル共有リンク

Synology NAS 上のファイルまたはフォルダは、簡単に共有できます。ファイルかフォルダを右クリックして、**[共有]** を選択するだけです。これでリンクと QR コードが生成されます。これらは友達や他のユーザーに送信できます。DSM ユーザーには通知も送信されます。これを受け取った人は DSM アカウントの有無に関わらず、リンクに従って選択したファイルやフォルダをダウンロードできます。

ファイルを添付ファイルとして E メール送信する

E メールでファイルを添付ファイルとして直接やり取りすることができます。選択したファイルを右クリックして、**[添付ファイルとして送信]** を選択するだけです。

リモートフォルダまたは仮想ドライブのマウント

File Station では、リモートフォルダをマウントしてネットワーク コンピュータや他の Synology NAS で共有されているコンテンツにアクセスしたり、ディスクイメージ内のコンテンツにアクセスするために仮想ドライブをマウントしたりすることができます。このような理由で、File Station ではネットワーク リソースやディスクイメージの内容を簡単に見ることができるのです。リモート フォルダや仮想ドライブについての詳細は、右上隅にある **[ヘルプ]** ボタン（クエスチョンマークが付いています）をクリックしてください。

音楽情報の編集

File Station の音楽情報エディタでは、音楽ファイルの情報を表示および編集することができます。音楽ファイルを右クリックして **[音楽情報の編集]** を選択してください。

ドキュメント、画像、動画を表示

File Station では、文書、ビデオ、写真を簡単に表示できます。詳細な指示は、右上隅にある **[ヘルプ]** ボタン（クエスチョンマークが付いています）をクリックしてください。

写真を編集

File Station では、Aviary Editor というウェブベースの外部フォト エディタを使って写真を編集することができます。詳細な指示は、右上隅にある **[ヘルプ]** ボタン（クエスチョンマークが付いています）をクリックしてください。

データのバックアップ

Synology はコンピュータと Synology NAS に包括的なバックアップソリューションを提供します。これらを活用して、コンピュータ上のデータを Synology NAS にバックアップしてください。**administrators** グループに属しているユーザーは、ローカルバックアップやネットワークバックアップで Synology NAS のデータをバックアップしたり、Synology NAS 間の共有フォルダコンテンツを同期することもできます。クリエイティブな [Copy] ボタンは、ワンタッチ設計で外部ストレージデバイスのバックアップを簡単にしました。Amazon S3 バックアップサービス、および革新的な Time Backup パッケージへのサポートにより、別の方法によるサーバーのバックアップも実行できます。

この章では、DSM のバックアップソリューションでデータを保護する方法を説明します。詳細な指示は、[DSM ヘルプ](#)を参照してください。

コンピュータデータのバックアップ

Synology 専用の Cloud Station Backup を使うと、Windows、Mac、または Linux コンピュータから Synology NAS にデータをバックアップできます。Mac または Linux をお使いの場合は、Time Machine または rsync を使用して Synology NAS にデータをバックアップできます。

Windows、Mac、および Linux に Cloud Station Backup を使用

Synology Cloud Station Backup アプリケーションは、Synology のウェブサイトの[ダウンロードセンター](#)からインストールできます。詳細な指示は、この[チュートリアル](#)を参照してください。

Mac の Time Machine を使う

Synology NAS は Apple の Time Machine に互換性を提供し、Mac のユーザーがデータを Synology NAS 上の共有フォルダにバックアップできるようにしています。詳細な指示は、この[チュートリアル](#)を参照してください。

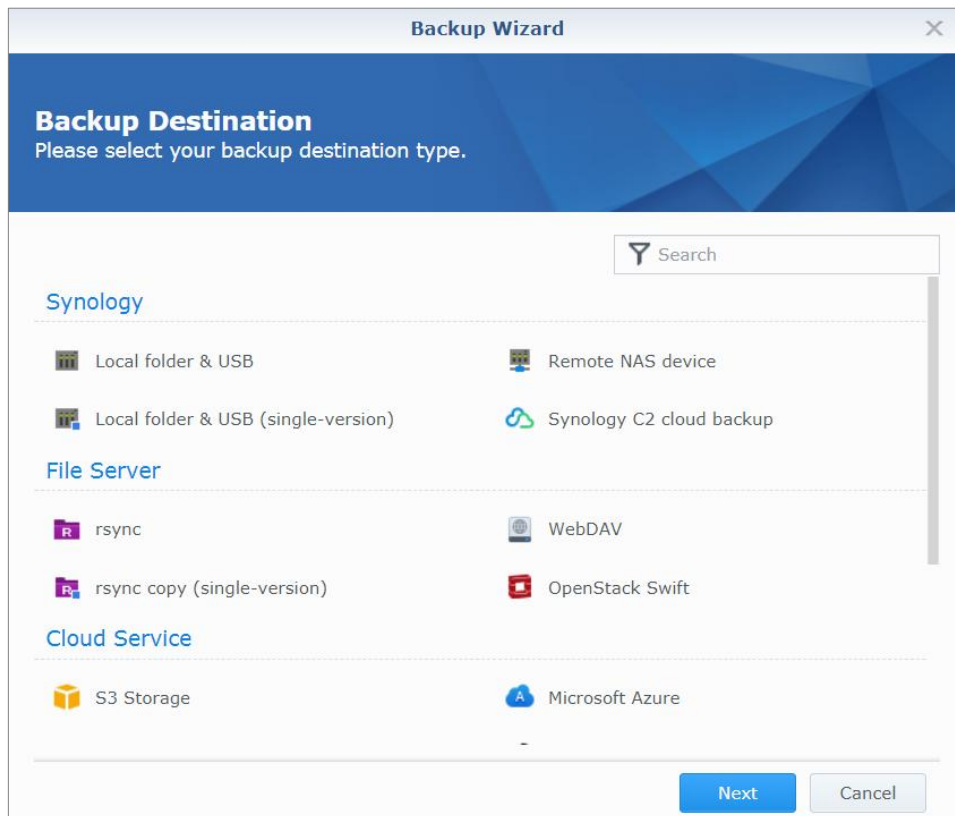
注: Time Machine の使い方については、Mac コンピュータのヘルプを参照してください。

Linux の rsync の使用

rsync を使って Linux のデータを Synology NAS にバックアップできます。

Synology NAS にデータまたは iSCSI LUN をバックアップする

Hyper Backup により、**administrators** グループに属するユーザーは、自分のニーズに応じて、1 台の Synology NAS からさまざまなタイプのディスティネーションにバックアップ タスクを実行し、ファイルを復元し、そして共有フォルダを同期できます。詳細な指示は、**DSM ヘルプ**を参照してください。



システム設定のバックアップと復元

[コントロールパネル] > [更新と復元] > [構成のバックアップ] の順に選択し、Synology NAS のシステム設定をバックアップ/復元します。システム設定を設定ファイル (.dss) にバックアップし、後から設定を復元することができます。

Synology NAS 間の共有フォルダコンテンツを同期する

共有フォルダの同期は、ネットワーク上の同期元の Synology NAS（または「クライアント」）から同期先の Synology NAS（または「サーバー」）へ共有フォルダのコンテンツを同期させることができます。共有フォルダの同期バックアップタスクは、[コントロールパネル] > [共有フォルダの同期]を選択すると表示および管理することができます。共有フォルダの同期を有効にする方法については、**DSM ヘルプ**を参照してください。

USB デバイスまたは SD カードへのデータのバックアップ

[コントロールパネル] > [外部デバイス] を選択し、USBCopy または SDCopy が使用する共有フォルダを指定した後で、Synology NAS のフロントパネルにある [コピー] ボタンを使用して、USB デバイスまたは SD カードから共有フォルダにデータをコピーします。¹

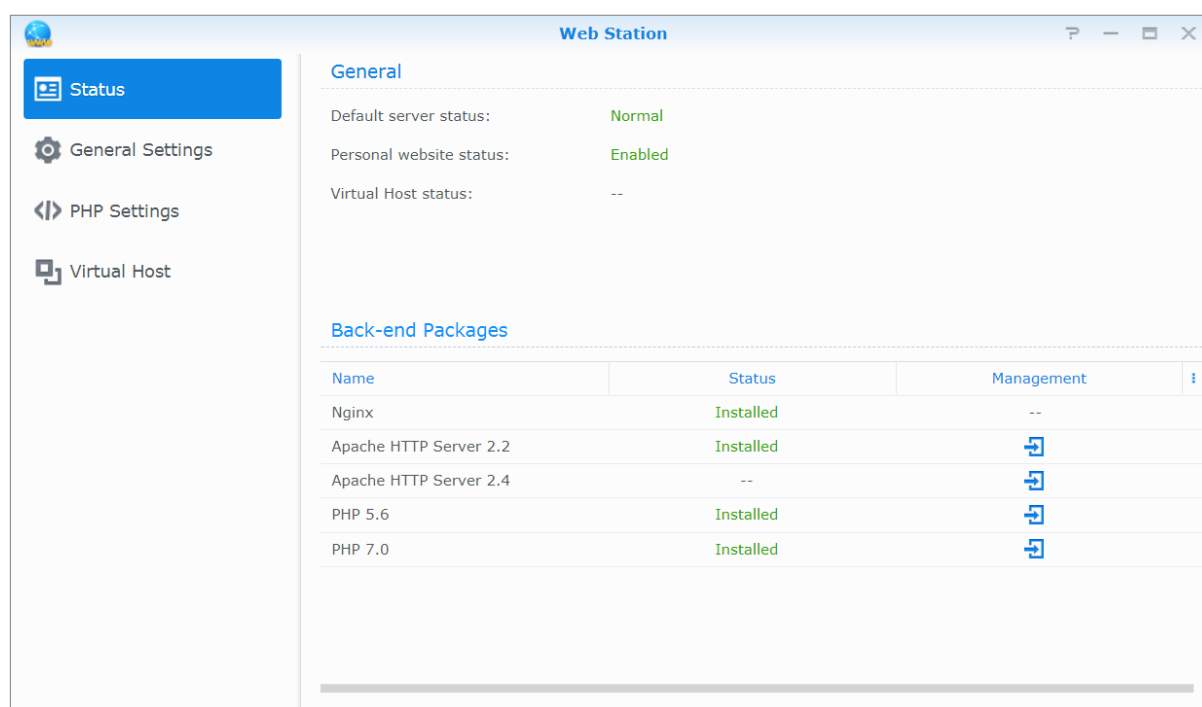
¹ USBCopy および SDCopy は、特定のモデルでしか使用できません。詳細情報は、www.synology.com を参照してください。

ウェブサイトとプリント サーバーのホスト

Synology NAS は、中小規模ビジネス (SMB) を対象に、ひとつの Synology NAS で追加料金が発生せずにウェブおよびプリントサーバーを設定する能力を提供するようデザインされています。この章では、これらの機能についての基本情報を提供します。詳細な指示は、[DSM ヘルプ](#)を参照してください。

ホストウェブサイトに Web Station を使う

[[パッケージセンター](#)]を開き、[Web Station](#) パッケージをインストールして PHP および MySQL へのサポートが統合されているウェブサイトを設定します。詳細な指示は、[DSM ヘルプ](#)を参照してください。



Web Station を有効にする

Web Station を使うと、Synology NAS のウェブページでウェブサイトを作成できます。内蔵 PHP と MySQL をサポートしていますので、ダイナミックでデータベース主導型のウェブサイト在设计できます。パッケージセンターからは、コンテンツ管理、顧客関係管理、e コマース システムをはじめ、多数のサードパーティ パッケージも提供しています。これらを手軽にインストールすることができます。デフォルトの共有フォルダ **web** には、ウェブサイトのウェブページ ファイルが保管されています。

仮想ホストを有効にしてウェブサイトをホストする

仮想ホスト機能を使って、1 台のサーバーで複数のウェブサイトをホストすることができます。各ウェブサイトには、異なるポート番号または異なるホスト名を使うことができます。

パーソナルウェブサイトの有効にする

パーソナルウェブサイト機能は、Synology NAS ユーザーが自分専用のウェブサイトをホストできる便利な機能です。各ローカル ユーザー、ドメイン ユーザー、LDAP ユーザーには、それぞれのウェブサイト アドレスがあります。

HTTP サービスオプションの変更

デフォルトポート番号 80 に加えて、Photo Station および Web Station 用の別ポートを追加できます。詳細な指示は、[DSM ヘルプ](#)を参照してください。

PHP 設定の管理

Web Station を有効にした後は、[\[PHP 設定\]](#) タブをクリックして PHP 関連の設定を行います。詳細な指示は、[DSM ヘルプ](#)を参照してください。

その他の情報

主なアプリケーションのインストール

- ウェブ環境の設定が完了した後は、複数のオープンソースアプリケーションを使ってアプリケーションをインストールしてウェブサイトの機能を強化してください。

Synology NAS をプリントサーバーとして設定

クライアント コンピュータやモバイル デバイスが Synology NAS に接続されているプリンタにアクセスできるようにするには、[\[コントロールパネル\]](#) > [\[外部デバイス\]](#) > [\[プリンタ\]](#) を選択し、LAN で Synology NAS プリンタサーバーとして設定します。Synology NAS は USB プリンタまたはネットワーク プリンタに接続できます。また、AirPrint にも対応していますので、iOS デバイスから印刷することができます。さらに、Google Cloud Print サポートにより、Google 製品や機能を使って印刷することも可能です。¹ 詳細な指示は、[DSM ヘルプ](#)を参照してください。

プリントサーバーを利用するようにコンピュータを設定する

プリントサーバーを Synology NAS に設定すると、ローカルエリアネットワークの Windows、Mac、および Linux クライアントはプリントサーバーに接続して、印刷/ファックス/スキャンサービスを利用することができます。

iOS デバイスでプリントサーバーを使用する

DSM の AirPrint サポートを有効にした場合、iOS 4.2、またはそれ以降で実行している iOS デバイスは Synology NAS に接続されているプリンタに印刷することができます。¹

¹ ハードドライブ、USB プリンタ、DMA、UPS などの推奨される周辺機器モデルについては、www.synology.com を参照してください。

パッケージセンターでさまざまなアプリケーションを検索

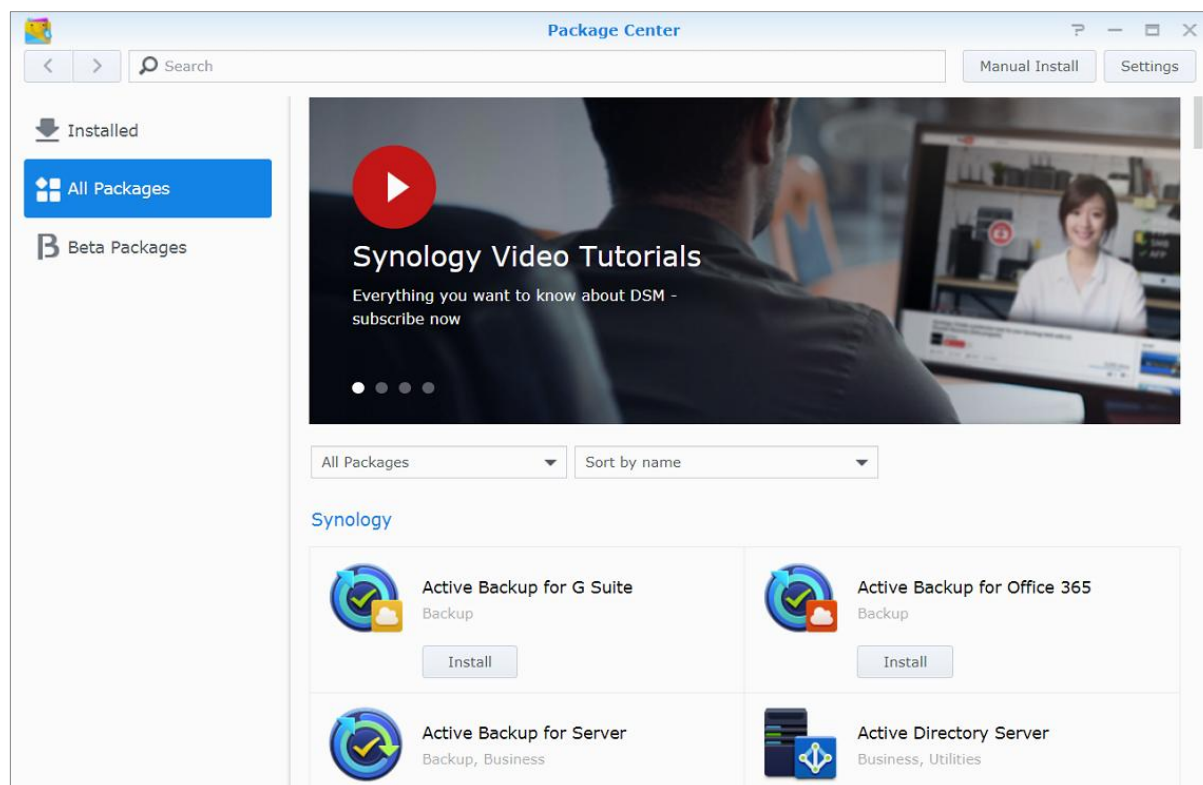
Synology は、サードパーティや Synology デザインのアプリケーションをパッケージに統合し、Synology NAS にインストールしてパッケージセンターで管理できるようにしました。

豊富な機能を持つアプリケーションが揃った Synology NAS は、マルチメディア コンテンツを楽しんだり、写真、ビデオ、ブログを共有したり、好きなときに好きな場所でファイルにアクセスしたり、カメラで現場の様子を生で見たり、デジタル TV 番組をライブストリームまたは録画したり、インターネットからファイルを検索およびダウンロードしたり、貴重なデータをバックアップしたり、自分のクラウドを構築したりと言った、さまざまな権限を提供します。不明な発行元から提供されたパッケージを Synology NAS にインストールする場合は、自分のトラスト レベルを設定してシステムを保護することができます。

この章では、パッケージセンターからダウンロードできるパッケージと、インストールの仕方を説明します。詳細な指示は、[DSM ヘルプ](#)を参照してください。

パッケージセンターが提供するもの

[\[パッケージセンター\]](#) を選択し、パッケージセンターからどのようなものがダウンロードできるのか確認してください。



Audio Station

Audio Station は、ユーザーが自分の Synology NAS の音楽ライブラリにアクセスしたり、LAN 上のオーディオソースを選択したり、お気に入りの音楽をプレイリストに追加したりできるウェブベースのアプリケーションです。

中央管理システム

Synology CMS（中央管理システム）を活用すると、複数の Synology NAS サーバーを効率的かつ便利に管理することができます。1つのインターフェイスで複数のサーバーの状態を管理したり、サーバーグループの設定を一括編集するためのポリシーを作成したり、各サーバーを最新の状態に保ちスムーズに稼働させることができます。

Chat

Chat は Synology NAS 上で実行されるインスタントメッセージングサービスで、ウェブページ、デスクトップアプリケーション、またはモバイルアプリ経由で重要なメッセージの送受信を可能にするもので、企業が安全でプライベートなインスタント会話環境を簡単に作成する上で役立ちます。

Cloud Station ShareSync

Cloud Station ShareSync が、Drive とペアリングすると、それらは一緒になってファイル共有サービスを提供し、複数のクライアント Synology NAS デバイス間でのファイルの同期ができるようにします。クライアントデバイスとファイルを同期する前に、Drive をホストサーバーにインストールする必要があります。その一方、同期したいクライアント Synology NAS デバイスに Cloud Station ShareSync をインストールする必要があります。

Cloud Sync

Cloud Sync を使用すると、ご使用の Synology NAS と、Dropbox、Baidu Cloud、Google Drive、Box、OneDrive、hubiC など複数のパブリッククラウドの間でファイルを同期したり、共有したりすることができます。選択的同期機能を活用すると、ファイルを分類したり、パブリッククラウドサービスに同期したいフォルダを選択したり、必要なファイルだけをパブリッククラウドサービスに保管したりすることができます。

Drive

Synology Drive は、Synology NAS に保管されたすべてのファイルに統一されたポータルを提供します。クライアントのソフトウェア経由で、コンピュータ、モバイルデバイス、および別の Synology NAS との間でシームレスにファイルを同期できます。さらに、Drive により Synology Office およびその他の通常のファイルにアクセスして、ファイルを共有して管理することができます。

DNS Server

DNS (Domain Name System) は、インターネットやその他のネットワークを通じて、コンピュータ間でデータのやり取りをやすくするための名前解決メカニズムです。その主な機能は、分かりやすいドメイン名（例: www.synology.com）を相当する固定のパブリック IP アドレス（例: 120.89.71.100）に変換することです。この機能により、ユーザーはインターネットやローカルネットワークを介して、ウェブページやコンピュータ、その他のデバイスを簡単に見つけ出すことができます。

Download Station

Download Station は、BT、FTP、HTTP、NZB、Thunder、FlashGet、QQDL、eMule、Xunlei-Lixian でインターネットからファイルをダウンロードしたり、RSS フィードを購読して話題の最新 BT を知ることができるダウンロードアプリケーションです。自動解凍サービスは自動的に Synology NAS にダウンロードされたファイルを解凍します。

Moments

Synology Moments により Synology Drive に保管された写真やビデオを整理することができます。それは、顔と物の認識機能により、写真の分類とタグ付けを高速かつ簡単なものにします。加えて、写真の日付と場所の情報がタイムラインでマークされ、日常生活の中でキャプチャされた特別な瞬間を詳細に追跡できます。

Note Station

Note Station では、豊富な内容のメモを書いたり、見たり、管理したり、共有したりすることができます。リッチテキストの編集、メディアの埋め込み、添付ファイルなどで、メモの内容は簡単に作成できます。さらに、

Synology Web Clipper を活用すると、ウェブコンテンツを手軽にクリップし、Note Station からアクセスすることができます。

Photo Station

Photo Station は、特にプロの写真家が、簡単にインターネット上で、写真とビデオを共有して、フィードバックを収集することができるようにデザインされたオンライン フォト アルバムです。Photo Station を活用すると、写真をすばやく、簡単にアップロード、整理、編集、共有することが可能です。

Office

Office は、プロフェッショナルな編集ツールにより、作業ドキュメント、スプレッドシート、そしてスライドを簡単かつ効率的に作成できるようにするウェブベースのアプリケーションです。Office は、データのセキュリティを確保するため、ファイルを即時に同期して保存することで、チームのメンバーが共同で生産性を向上できるようにします。

Surveillance Station

Surveillance Station は DiskStation Manager (DSM) にバンドルされているプロフェッショナルな Network Video Recording (NVR) ソフトウェアです。Synology NAS とペアリングされた IP カメラから、ビデオ撮影や監視を遠隔操作することができます。

Video Station

Video Station は、お気に入りのムービー、TV 番組、ホーム ビデオ、TV 録画などのコレクションを整理するための理想的なビデオ オーガナイザーです。ビデオをコンピュータ、モバイル デバイス、Apple TV や mainstream smart TV のような大画面、そして DLNA/UPnP 対応 DMA などで見ることができます。

パッケージのインストールまたは購入

[インストール]、[試す]、または [購入] をクリックして、画面の指示に従ってインストールを行ってください。
[手動インストール] をクリックして、.spk ファイル (Synology の [ダウンロードセンター](#) またはサードパーティのウェブサイトから入手できます) をアップロードすることでパッケージをインストールします。

モバイルデバイスで通信

モバイルデバイスでも頻繁にインターネットアクセスが行われるようになり、iOS/Android、Windows Phone、またはその他モバイルデバイスを使用して Synology NAS と通信するいくつかの優れたサービスを提供しています。

DSM mobile で DSM 設定を管理する

DSM mobile は **administrators** グループに属する DSM ユーザーに DSM 設定を管理させ、iOS (iPhone、iPad、iPod touch) または Android デバイス、Windows Phone の Web ブラウザで DSM 情報を確認できるようにします。

DSM mobile にログインする:

- 1 iOS または Android デバイス、または Windows Phone の Web ブラウザを使用して、**http://Synology_Server_IP:5000** に接続します。
- 2 DSM ユーザー資格情報を入力して **[ログイン]** をタップします。

注: DSM mobile についての詳細は、この [チュートリアル](#) をご覧ください。

iOS、Android、および Windows Phone アプリの使用

Wi-Fi アクセスが使える場所で Synology NAS と通信を可能にする Synology がデザインした Synology モバイルアプリは、Apple の App Store または Android の Market、Windows Marketplace でご購入いただけます。外出先からでも、NAS ファイル、音楽、写真、ビデオ、監視ビデオを管理したり、モバイルデバイスと NAS 間でフォルダを同期したり、ファイルをダウンロードしたり、ビデオを観たりすることが可能です。

Chat

Chat モバイル アプリにより、緊急メッセージを再生して、情報をチームメンバーといつでも共有できるので、コミュニケーションの効率性が増します。Chat パッケージをインストールするとすべてのメッセージが Synology NAS に保管され、安全でプライベートなスペースが会話に提供されます。

注: Chat は現在 Windows Phone に対応していません。

Drive

Drive により、あなたがどこにいても、Synology NAS のファイルに簡単にアクセスして管理できます。また、Web ブラウザにより、通常のファイル、画像、ビデオ、音楽、スプレッドシート、スライド、およびその他のドキュメントを Synology Office で開くことができます。さらに、Drive の機能によって、ファイルを検索、共有、移動して、ファイル上のラベルを適用してユーザーのタスクの効率性をいつでもどこでも向上させることができます。

注: Drive は現在 Windows Phone に対応していません。

DS audio

DS audio を使うと、iOS や Android 携帯、Windows Phone で Audio Station にアクセスして、お気に入りの高品質な音楽をいつでも聞くことができます。さらに、USB スピーカーや高品質なステレオ装置などのオーディオ出力デバイスが Synology NAS の USB ポートに接続されていれば、リモートコントローラ機能により、音楽再生のストリーミングができます。

DS cam

DS cam を使うと、iOS/Android デバイスを使用してユーザーは IP カメラでライブビューを見たり、スナップショットを撮影したり、ネットワーク接続がある場合は、Surveillance Station に保存されている録画を見たりすることができます。

DS cloud

Synology Cloud Station Server に対応するモバイル側のアプリで DS cloud を活用すると、iOS/Android デバイスと Synology NAS の間でフォルダを手軽に同期できます。

DS file

DS file は iOS または Android デバイス、Windows Phone で Synology NAS ファイルにアクセスしたり、管理したりすることができます。

DS finder

DS finder は iOS または Android デバイス、Windows Phone で Synology NAS を監視したり、その状態を電子メールで知らせたり、LAN (WOL) で復帰させるようリクエストしたり、再起動、シャットダウン、あるいはビーという音を鳴らしたり（その場所をすばやく見つけ出すのに役に立ちます）することができます。

DS get

DS では、iOS/Android デバイスまたは Windows Phone で直接 Download Station にアクセスし、ファイルをダウンロードすることができます。ダウンロードタスクを作成するには、URL を追加したり、内蔵ミニブラウザを使用したり、統合された Safari ブラウザを使用することができます。転送速度の制限、詳細スケジュールのアクティベーションなど基本設定を管理することも可能です。

DS note

DS note は、Synology Note Station ウェブアプリケーションに対応するモバイル側のアプリで、iOS/Android デバイスと Synology NAS の間でメモを手軽に同期できます。

DS photo

DS photo を使うと、どこでも iOS または Android デバイス、Windows Phone で Photo Station にアクセスして写真を共有することができます。Photo Station から携帯装置に写真をダウンロード/保存しておけば、いつでも好きな時に思い出を楽しむことができます。DS photo を活用すると、カメラ電話からスナップショットやビデオを直接 Photo Station にアップロードできます。さらに、他の人が写真にコメントを残したり、追加したりして楽しく写真の共有ができます。

DS video

DS video により、自宅にいる時は Apple TV で、外出中は iOS/Android デバイスを使って、Video Station にアクセスしてビデオを見ることができます。ビデオのコレクションを閲覧して整理し、さまざまなデバイスのどれからでも、再生を停止したところから再度見ることを続行できます。

Moments

Synology Moments により、iOS/Android デバイスで撮影された写真とビデオを Synology Drive にバックアップできます。すべての写真が時系列の順番に表示されて、トピック別にアルバムに整理されます。日常生活でキャプチャされた特別な瞬間を詳細にトラッキングできます。

注: これらのモバイル アプリについては、それぞれのヘルプをご覧ください。

他のモバイル デバイスを使う

使用する携帯電話が Windows Mobile 6.0 (Internet Explorer Mobile または Opera 9.0 以上)、Symbian OS 9.1 (S60 3rd Edition 以上)、または iPhone OS 2.3.1 以上を実行している場合は、そのデバイスで Synology NAS にログインして Mobile Photo Station で写真を表示したり、Mobile File Station で対応するファイルを読み込むことが、世界中のインターネットが使える場所で行えます。

トラブルシューティング

DSM の管理に関するご質問は、[\[DSM ヘルプ\]](#) を参照するか、または各ウィンドウの右上隅にある [\[ヘルプ\]](#) ボタン (クエスチョンマークが付いています) をクリックしてください。それ以外のご質問については、Synology ナレッジベース ウェブサイト (help.synology.com) をご覧ください。